SORACHI

空知

HOKKAIDO

北海道空知地域
創生協議会

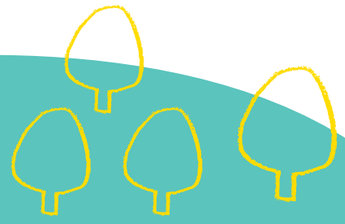
TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください







そきっと行きたくなる
ら ち・デ・ビュー



観て、食べて、遊んで
さらに、そこからもっと。

花を見る。自然で遊ぶ。
炭鉱グルメ、肉グルメ、ワインを味わい
ファームレストランを楽しむ。

サイクリングで駆ける。





知れば
きっと行きたくなる
24市町
データ付

SORACHI

空知

HOKKAIDO

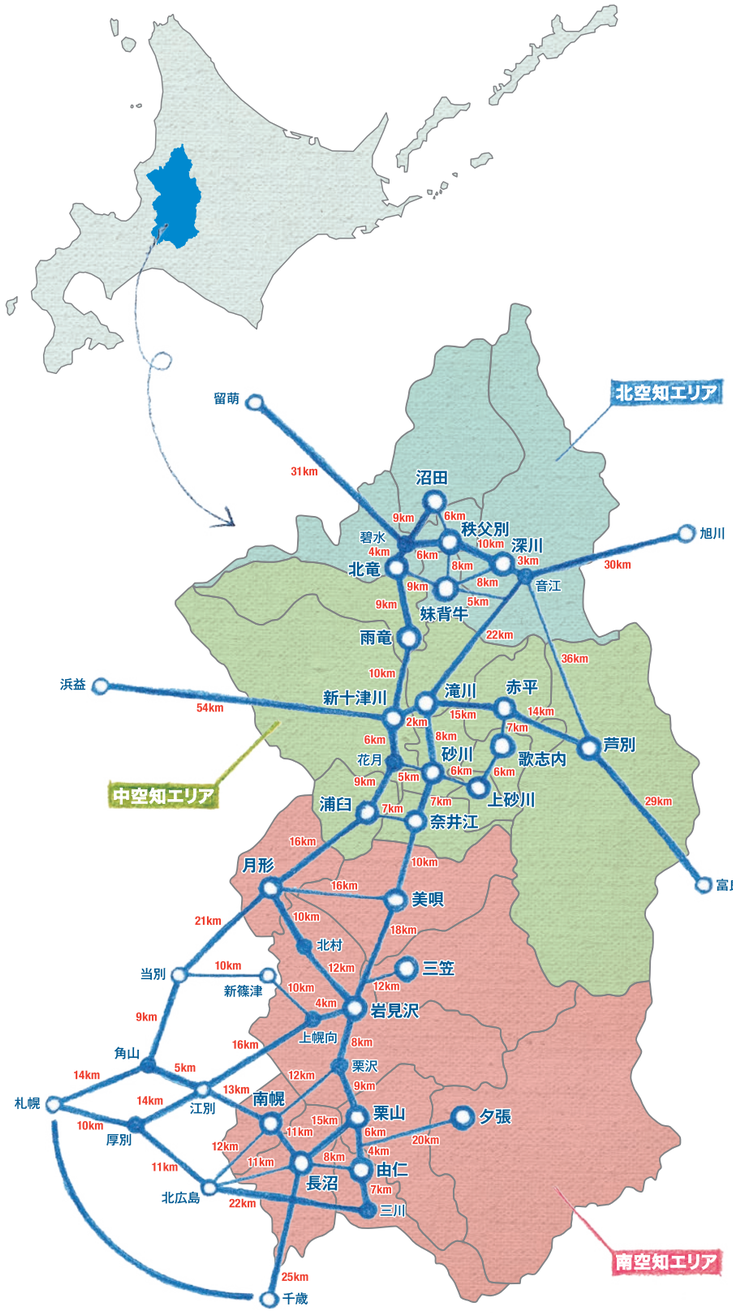
掲載施設等をご利用の際には、
新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しましょう。

新北海道スタイル

北海道空知地域創生協議会
〒068-8558 北海道岩見沢市8条西5丁目 北海道空知総合振興局内 ☎0126･20･0036

令和3年3月発行

sorachi 空知 MAP



距離は概算です。
移動の目安としてご利用ください。

もくじ

空知のあゆみ
2 日本遺産 炭鉄港
5 豊かな実り

炭鉱グルメ
6 “炭鉱マチ”の食文化が息づく
空知ならではの郷土料理

肉グルメ
7 空知発祥の味付けジンギスカンから
合鴨、キジ、アスパラひつじまで!

ワイナリー&酒蔵
8 飛躍する空知産ワインと
土地の風土を慈しむ地酒

ファームレストラン
10 絶好のロケーションで
旬を味わう農村ランチ

サイクリング
11 ゆったりした風景をマイペースで駆ける
グルメもお楽しみもいっぱいの空知ロード

空知を遊ぶ❶
12 山、川、湖沼、生き物たちの営み
大いなる自然と戯れる

空知を遊ぶ❷
14 ここにしかない“お楽しみ”が満載
とびきりの体験が待っている

花
16 春から夏、そして秋
空知を彩るかれんな花たち

24市町紹介
18 夕張市・岩見沢市
19 美唄市・三笠市
20 南幌町・由仁町
21 長沼町・栗山町
22 月形町・芦別市
23 赤平市・滝川市
24 砂川市・歌志内市
25 奈井江町・上砂川町
26 浦臼町・新十津川町
27 雨竜町・深川市
28 妹背牛町・秩父別町
29 北竜町・沼田町

この事業はサマージャンボ宝くじの
収益金を活用して実施しています。

このパンフレットは、北海道を応援する皆様からお寄せいただいた「ふるさと納税」を活用して作成しています。
詳しくは、北海道公式サイト ふるさと納税ページをご覧ください。

そらち・デ・ビュー(※)

“空を知る”という名前の通り、緑の田園風景の上に広がるのは
きれいな薄青色をした、大きな、大きな空…。
アイヌ語で「滝をくだる(ソーラップチ)」という語源を持つ「空知」は、
北海道のほぼ中央に位置し、札幌からも旭川からもほど近いエリアです。
開拓の昔から米どころとして知られ、今は果物や野菜の産地として、
また、ワイナリーが集中するエリアとしても知られています。
ジンギスカンをはじめとする肉グルメも豊富。
かつて国内エネルギーを支えた炭鉱の数々は、今は産業遺産として人気に。
見逃せない絶景や、心躍るアクティビティーもいっぱいです。
観光地としても、住まいとしても、いろいろな魅力に満ちた「空知」。
その楽しみ方を、24のまちの特長と共にご紹介します。



そらち応援大使　鈴井 貴之さん

SORACHI
空知
HOKKAIDO

空知を象徴する「お米」「お酒」「石炭」と、広がる空を連想させる「雲」をモチーフにして組み合わせ、「空知」の漢字をスタイリッシュに表現しました。色は、ブラックをベースにソラチブルーをアレンジ。

(※)
そらち・デ・ビュー

このキャッチコピーには、空知の魅力を知ってもらう活動を通して、首都圏はじめ道内外あちこちに空知が“デビュー”していくという意味と、道内外からの皆さんが観光や移住で空知に「来て・見て・食べて・住む」=“デビュー”をしてもらいたい、という意味を込めています。空知の景観(view)を楽しんでほしい気持ちも表しています。

空知を元気にするため活動をしています!
「北海道空知地域創生協議会」

「空知」の活性化と知名度アップを目的に、平成28年5月、空知総合振興局と空知管内24市町からなる「北海道空知地域創生協議会」が発足しました。
複数のマチが連携しアイデアを出し合うことで、「観光」や「移住・定住」を推進するとともに、空知地域の魅力を広く発信していきます。そのためのシンボルとして、空知を表すキャッチコピーとロゴマークを制作。どうぞこれからは、この“顔”で空知を覚えてください。

協議会で取り組むこと

- 道内外への総合的・戦略的な魅力発信による「空知の知名度向上」と「空知ブランドの定着」
- 日本遺産「炭鉱港」やワインなど、空知特有の地域資源を活かした「広域観光の推進」
- 札幌圏と旭川圏に近接する空知の地の利を活かした「移住・定住対策の積極的な推進」

[お問い合わせ] 北海道空知地域創生協議会
☎0126-20-0036(8時45分～17時30分／土曜・日曜・祝日、12月29日～1月3日は休み)
ホームページ／http://sorachi-de-view.com/

掲載されている情報は、令和2年12月現在のものです

日本の近代化を支えた石炭エネルギー それを運ぶ〝道〟の始まりが、空知

「炭鉱遺産」、そして「炭鉄港」へと語り継がれる空知の物語

鉄を溶かす炎となり、動力を生む蒸気となり、電気を創る熱となって日本の近代化を推し進め、やがて諸外国と並ぶほどの発展をもたらしたエネルギー、石炭。明治初期に三笠で埋蔵量豊富な石炭層が発見され官営の「幌内炭鉱」が開鉱して以来、「空知」は国内最大の採炭地に。紛れもなく、日本の繁栄を支える拠点でした。

その石炭を運ぶため、明治15年には三笠～小樽手宮間に北海道初の鉄道が誕生。人や物資を運ぶ物流の要ともなったことで、北海道の開拓も大きく進みます。しかし鉄道敷設は簡単ではなく、前人未到の原野で寒さ暑さに耐え、長時間労働に耐え、文字通り命がけで切り拓き線路を敷いていったのは、月形や三笠の集治監（監獄）にいた囚人たちでした。政治犯や極悪人だった彼らは、政府に〝経費節減になる労働力〟と考えられていたのです。

最盛期の昭和30年代には大小100もあった炭鉱ですが、時を経て石油へのエネルギー転換が進むにつれ、次々と閉山。〝黒いダイヤ〟とまで呼ばれた石炭はすっかり忘れ去られ…と思いきや、近年、往時の面影を「炭鉱遺産」として保存する取り組みによって、古びた立坑櫓や施設跡などが観光スポットとして人気に。さらに、空知の石炭に端を発し、近代北海道を築く基盤となったストーリーは「炭鉄港」としてまとめられ、令和元年「日本遺産」（文化庁）に認定されました。

石炭とその利用や運搬にまつわる「石炭・鉄鋼・港湾・鉄道」のテーマで、北海道を築く拠点となった三都（空知・室蘭・小樽）を結び、その営みを後世に伝えていく「炭鉄港」。中心的な役割を担った「空知」の歴史は、こうして語り継がれていくのです。


2階展示スペースを一新。


導入展示部分。夕張の概要について
コンパクトにまとめています。

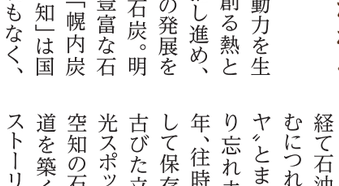


採炭風景を再現した「炭坑風俗館」

1 旧北炭夕張炭鉱模擬坑道（夕張市石炭博物館）
夕張市

明治・大正・昭和の採炭風景を31体の人形で再現した展示ほか、当時使われた道具・機械、新聞記事・写真など大量の資料を通し、夕張の炭鉱の盛衰をリアルに伝える貴重な博物館。平成30年4月28日に全面リニューアルオープン。

●夕張市高松7番地1　☎0123･52･5500　4月～9月 10:00～17:00、10月～11月 10:00～16:00（入館は閉館の30分前）、火曜休館、11月～4月休館、一般720円、小学生440円
https://coal-yubari.jp/



暮らしの姿の一端を思い出させる展示品。

空知の炭鉱コンシェルジュ

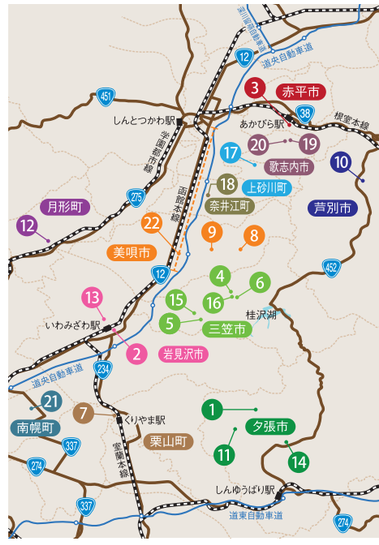
2 そらち炭鉱（ヤマ）の記憶マネジメントセンター

空知の炭鉱のことを知りたかったら、まず、ここを訪ねてみるのがオススメです。「炭鉱の記憶」の情報拠点として、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団が平成21年に開設。資料・映像・印刷物の閲覧ができるほか、イベント情報や、炭鉱遺産の周辺環境の情報（歩きにくさなど）も教えてくれるので、現地巡りを始める前にぜひ寄ってほしいスポットです。

●岩見沢市1条西4丁目3番地 ☎0126･24･9901 10:30～17:30、月曜・火曜休（祝日の場合は営業、翌日休み）、入場無料
http://www.mc.soratan.com/




注意！ 炭鉱遺産を訪ねる際には、自己責任で注意すべき点があります。
山深い場所のため危険な野生動物や害虫も多いこと。個人・企業の所有地である場合は勝手に立ち入れないこと。
崩壊の危険を持つ物件もあること、などです。事前チェックと現地での注意を万全に。



日本遺産 炭鉄港 構成文化財



4 住友奔別炭鉱立坑櫓・周辺施設
三笠市

昭和35年に建築された、高さ約51m、内径約6m、深さ約735mの立坑。当時の最新鋭システムによって、鉱員・石炭・機械・ズリなどを一挙に運搬できた。●三笠市奔別町



5 幌内変電所
三笠市

大正8年頃に建設されたことで電力で動く大型機械が登場し、石炭を採掘する効率が向上した。
●三笠市幌内本沢町

6 北炭幾春別炭鉱錦立坑櫓
三笠市

大正9年頃に建設された現存の道内最古の立坑。高さ約10m、深さ約215m、内径約5m。●三笠市幾春別山手町



7 小林酒造建造物群
栗山町

明治33年、札幌で創業していた小林酒造が炭鉱で発展し始めた夕張にほど近く、自然の豊かさと豊富な水のある栗山に酒蔵を移転しました。栗山では基幹産業である農業をベースにこれまでの歴史から生まれた産業・商業、小林酒蔵の蔵といった建造物を栗山の交流や観光の重要な拠点のひとつとしています。



3 住友赤平炭鉱立坑櫓・周辺施設
赤平市

昭和38年に建設され、閉山の平成6年まで稼働した、高さ43.8m、深さ650mの立坑。今も当時の構造のまま、機械や電気系統も事務所までもそのままに保管され、ガイド付きで見学できる。●赤平市字赤平485番地　☎0125･74･6505（炭鉱遺産ガイダンス施設）立坑内部の見学は有料（要問い合わせ）



8 三菱美唄炭鉱竪坑櫓
美唄市

深い緑の中に浮かぶ朱色が印象的。旧三菱美唄炭鉱施設跡地を炭鉱メモリアル森林公園として整備しており、敷地内をぐるりと散策できる。昭和初期には出炭量が年間100万tを超え、三菱鉱業全炭鉱の中でも第1位だった。立坑櫓と原炭ポケットは、平成19年に経済産業省の近代化産業遺産に認定。
●美唄市東美唄町一ノ沢　☎0126･63･0138（美唄市都市整備部）　見学無料



9 安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄（旧栄小学校）
美唄市

炭鉱都市として栄えた当時、たくさんの子供が通った小学校を再利用。（P19参照）

10 旧頼城小学校（星槎大学）校舎及び体育館
芦別市

炭鉱都市として栄えた当時、たくさんの子供が通った小学校を再利用。1953年に全焼した木造校舎をレンガ造で再建。レンガはすべてイギリス積みで、約70万個を使用。一線校舎の外壁（直線廊下）の長さは106mと国内でも稀な規模のレンガ建築物です。





11 旧北炭鹿ノ谷倶楽部（夕張鹿鳴館）
夕張市

大正2年に北炭の迎賓館「北炭鹿ノ谷倶楽部」として誕生。会社幹部や政治家などセレブだけが存在を知る〝幻の館〟だった。
●夕張市鹿の谷2丁目4番地 ※現在休館中

12 樺戸集治監本庁舎（月形樺戸博物館）
月形町

明治14年の開監から廃監まで39年間の「樺戸集治監」の歩みを、当時の資料・写真、再現ジオラマなどで紹介。初代典獄（刑務所長）月形潔ら歴代の典獄の人柄を紹介したり、看守の暮らしぶりや個性的な囚人たちの姿を紹介するなど、人間味を感じる展示内容になっている。多くの記録や資料から、囚人たちが道路工事に従事した際の様子もリアルに伝わる。（P22参照）
●月形町1219番地　☎0126･53･2399　9:30～17:00（入館は16:30まで）、4月～11月（無休）　一般300円、高校・大学生150円、小・中学生100円、ほか各種割引あり　http://www.town.tsukigata.hokkaido.jp/2991.htm



日本遺産 JAPAN HERITAGE

「日本遺産」は地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。空知の炭鉱、室蘭の鉄鋼、小樽の港湾、それらをつなぐ鉄道を舞台に繰り広げられた産業革命の物語に関連する産業遺産が「本邦国策を北海道に観よ!～北の産業革命「炭鉄港」～」として、令和元年、文化庁より日本遺産に認定されました。

空知のあゆみ

豊かな実り

さまざまな人たちが拓きつくりあげた〝米どころ〟

道民が「空知」に抱くイメージの一つは、おいしい道産米のとれる〝米どころ〟であるということ。実際、水稲の作付面積は、全道の4割以上を占めています。そのあゆみは、明治19年の北海道庁の開設と、土地を貸して入植を奨励する「北海道土地払下規制」（同22年）によって活気づきました。

全国各地から移り住んだ人たちの中には、大水害で故郷の奈良県・十津川村を離れた600戸2489人もおり、彼らの苦難は小説「新十津川物語」に描かれました。また、華族や豪商が大農場開拓を手がけるケースもあり、雨竜には「華族組合雨竜農場」が誕生。さらに、浦臼には坂本龍馬の甥・直寛が妻子と移住し、農場を経営しました（P26参照）。そして開墾や水田作りにも集治監の囚人たちが従事したことも、忘れてはいけない歴史の一コマです。



夕張川をはじめとする豊かな水の恵みも、空知の実りを支えます。

potato





melon



tomato



cabbage



wine grape



米からワインまで、〝おいしい空知〟を実現

道内トップの米産地であるとともに、小麦、野菜、果実の生産も盛んな空知。夕張をはじめとするメロンなど、全国的に有名なブランド作物も育てられています。近年ではワイナリーとヴィンヤードが集中するエリアとしても知られ（P8参照）、生産地を訪ねる「ワインツーリズム」が人気です。

管内では、化学肥料を極力使わないクリーン農業や環境に配慮した農業にエリアをあげて取り組んでいるほか、農業と食への関心を高めてもらうための「農村ツーリズム」の実施や、地域の食材を活用するこだわりの飲食店を「北のめぐみ愛食レストラン」に認定するなど、空知の食に関するいろいろな工夫を行っています。

開拓の時代からさまざまな人々が積み上げ、その後ひき継がれている努力の数々が、今の〝おいしい空知〟を創りあげているのです。

【空知のまちの 主な農作物】

夕張	メロン、長いも、花豆	長沼	米、大豆、長ネギ、白菜	砂川	米、トマト、リンゴ	雨竜	米、メロン
岩見沢	米、タマネギ、小麦、白菜	栗山	米、麦類、大豆	歌志内	ワイン用ブドウ、トマト、葉野菜（水耕栽培）	深川	米、黒米、リンゴ、ソバ、サクランボ
美唄	米、ハスカップ、アスパラガス	月形	メロン、スイカ、トマト	奈井江	米、メロン、トマト	妹背牛	米、大豆、花き
三笠	米、タマネギ、メロン	芦別	米、メロン、サクランボ	上砂川	シイタケ	秩父別	米、ブロッコリー
南幌	米、キャベツ、トウモロコシ	赤平	米、トウモロコシ、アスパラ	浦臼	ワイン用ブドウ、ぼたんそば、メロン、マンゴー	北竜	米、メロン、スイカ
由仁	米、花き、馬鈴しょ	滝川	米、リンゴ、なたね	新十津川	酒米・米、メロン、トマト、シイタケ	沼田	米、麦、大豆、ソバ、加工用トマト



クラウス15号蒸気機関車 沼田町

日本に現存する小型蒸気機関車の中で最古。明治22年にミュンヘンのクラウス機関車製造所で製造され、九州、東京を経て昭和6年に北海道へ。留萌鉄道と明治昭和鉱業所の貨物専用線(ともに沼田町)で石炭運搬に従事し、昭和42年12月まで活躍。昭和45年に町の指定文化財、平成22年にJR北海道「準鉄道記念物」に指定された。

●沼田町幌新377番地（ほろしん温泉ほたる館前）
☎0164･35･2132（沼田町教育委員会事務局）
5月上旬～10月末、見学無料



13 岩見沢レールセンター（旧北海道炭礦鉄道岩見沢工場） 岩見沢市

幌内鉄道の車輌やレールを製造・修理するために明治32年に作られた工場。現在はJR北海道のオフィスなので内部の見学は不可。

●岩見沢市有明町中央（JR岩見沢駅北出口側）

炭鉱関連 その他のスポット

14 三菱大夕張鉄道車輌 夕張市

石炭や乗客を運んでいた三菱大夕張鉄道の、客車、ラッセル車、石炭車を屋外で保存展示。客車は内部の見学もできる。

●夕張市南部東町（三菱大夕張鉄道保存会）4月下旬～11月初旬、見学無料
http://www.ooyubari-rps.net



今にも走り出しそうな様子で展示されています







「三笠ゾーン」にある「クロフォード公園」には多様な車両を展示。

15 三笠鉄道村 三笠市

「幌内ゾーン」と「三笠ゾーン」の2か所で、北海道の鉄道に関する貴重な資料と多様な車両を展示するほか、蒸気機関車S-304の乗車体験や運転体験もできる。平成13年「空知の炭鉱関連施設と生活文化」として北海道遺産に認定。体験モノの実施日・料金など詳細はHPで確認を。（P19参照）

●三笠市幌内町2丁目287番地　☎01267･3･1123　9:00～17:00、月曜休（祝日の場合は翌日）、10月16日～4月15日休　一般530円、小・中学生210円、ほか各種割引あり　http://www.s-304.com



16 三笠市立博物館 三笠市

アンモナイトの展示数日本一で知られており、国の天然記念物に指定されたエゾミカサリュウの化石も展示。「空知集治監」や炭鉱に関する資料も展示している。（P19参照）

●三笠市幾春別錦町1丁目212番地1
☎01267･6･7545 9:00～17:00（入館は16:30まで）、月曜休（祝日の場合は翌日）、12月30日～1月4日休
一般450円、小・中学生150円、ほか各種割引あり
http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/museum/



17 旧三井砂川炭鉱中央立坑櫓 上砂川町

水準下660mレベルの深部採炭を目的とする立坑で、昭和62年の三井砂川炭鉱閉山時まで使用。その後、深さを活用して地下無重力実験センター（JAMIC）の落下塔となり（平成15年に廃止）、平成27年には「ハイパーカミオカンデ」の部品の強度試験のために利用と、三たび脚光を浴びた。

●上砂川町上砂川7番地 見学無料（敷地外から外観の見学のみ可能）

18 にわ山森林自然公園（石炭露頭） 奈井江町

かつて露天掘りを行っており、今も露頭を見ることができる。（P16参照）



22 直線道路 美唄市

全長29.2kmの「日本一の直線道路」（国道12号）。集治監の囚人たちが造った道の1つ。（P3参照）

19 こもれびの杜記念館（旧空知炭鉱倶楽部） 歌志内市

明治30年に北炭の合宿所として誕生。昭和29年に来賓を接待する倶楽部となった。洋風の本館と数寄屋造の別館を修復し、予約公開中。

●歌志内市本町74番地4
☎0125･43･2131（郷土館ゆめつむぎ）
9:00～17:00、5月上旬～9月下旬（積雪等により期間変更あり）、見学無料（1週間前までに要予約）





20 郷土館ゆめつむぎ 歌志内市

映像や模型で大正時代の炭鉱マンの生活を再現した展示や、懐かしの生活用具の展示などがあります。営業時間、入場料ほか詳細はHPで。

●歌志内市本町1027番地1
☎0125・43・2131
http://yumetsumugi.ec-net.jp



21 旧幌向駅逓所 南幌町

昭和5年に夕張鉄道が開通するまで交通が不便だったこの地で、明治45年、旅人の宿泊と馬による物品運送の便をはかるために松田与三氏が開いた駅逓。平成18年に文化庁の登録有形文化財に登録された。

●南幌町元町3丁目3番地19

Gourmet

肉グルメ

空知発祥の味付けジンギスカンから最近注目のジビエ、アスパラひつじまで！

野菜や米の栽培が盛んな空知ですが、実は、古くから今も、独自の肉料理や加工品を生み出している〝肉王国〟でもあります。

なかでも、滝川の「松尾ジンギスカン」は、タレに漬け込んだ羊肉を鉄鍋で焼く〝味付けジンギスカン〟の草分け。その食文化は、空知を中心に広がり、まちごとの個性豊かな味として根付いています。

また、北海道では珍しい合鴨やキジ、アスパラガスを飼料に育てるヒツジ、さらに近年注目されているジビエ（エゾシカ肉）など、全国から注目される食材も豊富。そんな空知発のとっておきの肉グルメをご紹介します。

特上ラムジンギスカン（野菜付き）1,485円



エゾシカソーセージ



ジビエ de そらち
エゾシカ
シャルキュトリー





ジンギスカン

◎味付けジンギスカンのパイオニア

松尾ジンギスカン 本店

昭和31年創業。クセのあった当時の羊肉を「誰でもおいしく味わえるように」と、独自の漬けだれを開発し、味付けジンギスカンを広めた草分けです。主に道産のリンゴやタマネギ、ショウガ、醤油、十数種類の香辛料をブレンドした秘伝のタレは創業時のまま。滝川市から生まれた伝統の味を堪能できます。（P23参照）

●滝川市明神町3丁目5番12 ☎0125･22･2989
11:00～21:00（LO20:45）、無休、年末年始定休



みやげ用の袋詰め
ジンギスカンも購入できる

3種食べくらべセット
（野菜付き）1,500円



ジンギスカン



◎3タイプの味わいを食べ比べ！

ながぬま温泉 ジンギスカンコーナー

綿羊を飼育していた歴史がある長沼町も、古くから味付けジンギスカンが親しまれてきたまち。ながぬま温泉のジンギスカンコーナーでは、「かねひろジンギスカン」「まおいジンギスカン」「長沼成吉思汗」、町内3店の味を一度に楽しめる「3種食べくらべセット」が人気です。（P21参照）

●長沼町東6線北4番地 物産館2階 ☎0123･88･2408
11:00～20:30（LO20:00）、年末年始定休

キジ

キジカツカレー
（サラダ付き）1,100円



◎キジ肉を多彩なメニューで満喫

きじ料理専門店 きじまるくん

かつて岩見沢市で農業の害獣駆除のため活躍していたというキジを、平飼いで育てる「ワークつかさ」のきじ料理専門店。程よい歯応えとコクのある甘みが魅力です。

●岩見沢市日の出町604番地1☎0126･22･1441
11：00～14：30、火曜・水曜定休、年末年始定休

アスパラひつじ



アスパラひつじのキーマカレーとパンのセット 1,200円

◎石窯パンとアスパラひつじを堪能

カフェストウブ

アスパラの根元を与えることで、肉の甘味や旨味を引き出す美唄市・西川農場の「アスパラひつじ」。「カフェストウブ」では、アスパラひつじを使ったキーマカレーが人気です。

●美唄市西5条北5丁目5番5　☎0126･35･4077　10:00～18:00
月曜火曜休、年末年始休

合鴨

噛むごとに肉のうま味があふれる
「あいがもスライス」792円



◎肉質がやわらかくジューシーで特有のクセがないのが人気の秘訣

滝川新生園

ヨーロッパ産にも引けを取らない品質と称される滝川市産の合鴨。市内のお店では「合鴨なべ」や「合鴨そば」、「合鴨丼」がご当地メニューとして人気です。

●赤平市共和町199番地13　滝川新生園 赤平工場 ☎0125･74･6156

みやげはコレ！

贈り物に喜ばれる人気の加工品をピックアップ。



しいたけソーセージ

良質な道産豚に新十津川町産シイタケを練り込んだ極太ソーセージ。厚さによって味わいや食感の違いが楽しめます。

販売店／ヴルストよしだ
●新十津川町中央6番地99
☎0125･72･2525



神内和牛あか

浦臼町の広大な神内ファーム21で、ストレスなく育てられたあか毛和牛。低脂肪・良たんぱくで、うまみ成分がたっぷり。

販売店／砂川ハイウェイオアシス館 そらいちマーケット
●砂川市北光336番地7
☎0125･53･2460



ふかがわポーク

深川産の米粉を与え、のびのびと育てられた放牧豚。ウインナーやベーコンなど10種類の加工品がそろいます。

販売店／道の駅ライスランドふかがわ
●深川市音江町広里59番地7
☎0164･26･3636

Gourmet

炭鉱グルメ

〝炭鉱マチ〟の食文化が息づく空知ならではの郷土料理

【美唄市】
鶏のさまざまな部位が一本の串に！
美唄焼き鳥



提供店リスト
●焼とり たつみ
美唄市西1条南1丁目1番15 ☎0126･63･4589
●元祖美唄やきとり 福よし 美唄本店
美唄市西1条南3丁目2番16 ☎0126･63･3451
●味心　三船
美唄市西2条南4丁目1番1 エスビル2階
☎0126･63･2709
ほか多数あり

一本の串に、レバーやハツ、砂肝、キンカン（成熟前の卵）、皮など、鶏のさまざまな部位を刺して焼くモツ串。肉の間にはネギではなくタマネギを挟み、遠火の強火で香ばしくジューシーに焼き上げるのが、味の決め手です。味付けはシンプルに塩・こしょうが一般的。貴重なタンパク源だった鶏を余すところなく味わうために考案されたといわれています。

【歌志内市】【三笠市】
柔らかな馬の腸に味噌が染み込む
なんこ料理



提供店リスト
●うたしないチロルの湯 レストラン チロル
歌志内市中村78番地3 ☎0125･42･5588
●まんぶく食堂
三笠市幸町6番地11 ☎01267･2･2429

馬の腸をゆでた後、柔らかくなるまでじっくり煮込み、タマネギを入れて味噌で味付けしたもの。炭鉱マチでは、体が温まる冬の味として親しまれ、ゴボウやコンニャクなどの具材、ショウガやニンニクといった隠し味の違いで、家庭それぞれの味わいがあります。現在は「なんこ鍋」のほかにも「なんこカレー」といった新しい食べ方も登場しています。（P24参照）

【芦別市】
とろ～り具だくさんの中華風スープ
ガタタン



提供店リスト
●きんたろう
芦別市北4条西1丁目3番地19 ☎0124･22･8205
●新宝来軒
芦別市上芦別町38番地83 ☎0124･23･1504
●道の駅「スタープラザ芦別」レストラン ラ・フルール
芦別市北4条東1丁目1番地 ☎0124･23･1437
ほか多数あり

とろみのあるスープに、細かく切った豚肉や野菜など10種類以上の具を入れ、溶き玉子でふんわりとしたスープ。中国の家庭料理がルーツといわれ、炭鉱マンがお酒を飲んだ後に〆で味わうメニューとして愛されていたそうです。一度は消えかけてしまいましたが、市内の飲食店などがご当地グルメとして復活させ、ラーメンなどアレンジメニューも提供しています。（P22参照）

【赤平市】
炭鉱長屋への郷愁を込めて命名
がんがん鍋



味噌仕立てのスープに、豚のホルモンや豆腐、野菜などを入れて煮込む鍋料理。かつて炭鉱長屋では、この鍋を石炭ストーブの上で煮立たせ、仲間や家族と味わったそうです。時を経て命名された「がんがん鍋」には、ストーブをがんがん焚いて、がんがん煮込み、がんがん食べて、語り、働くという、当時の食文化への思いが込められているのです。（P23参照）

提供店リスト
●八千代館　赤平市本町2丁目1番地 ☎0125･32･2065
●海鮮居食屋 暖らん　赤平市本町1丁目2番地 ☎0125･32･5217 ※要予約
●寿しの松川　赤平市大町1丁目2番地16 ☎0125･32･3065 ※要予約
など

石炭資源開発の中心として栄えた空知の炭鉱マチには、それぞれの暮らしの中で生まれ、愛されてきた数々の食文化が根付いています。かつて炭鉱マンたちが冷えた体を温めるために仲間や家族と囲んだ鍋料理をはじめ、スタミナ源として好んで食べた焼鳥、お酒の後のメとして味わったという具だくさんのスープなど。その味わいは違っても、炭鉱マンの体を気遣う工夫や愛情が詰まっています。

炭鉱の灯が消えた今でも、地域ごとで守り継がれる代表的な炭鉱グルメを味わってみてください。

wine & sake

ワイナリー＆酒蔵

飛躍する空知産ワインと土地の風土を慈しむ地酒

世界から注目される北海道産ワインの聖地

北海道の夏は、梅雨や台風の影響が少なく、からりと爽やかで、昼夜の寒暖差が大きいことが特徴。これは、ブドウの栽培においてフランス・シャンパーニュ地方と同じ気候区分にあたり、近年、北海道はワイン醸造用ブドウの産地としてますます期待が高まっています。なかでも、大きく飛躍しているエリアが、現在、6か所のワイナリーと多数のヴィンヤードが集中している空知です。北海道では育たないとされた「ピノ・ノワール」などフランスの高級ワイン用ブドウの栽培に先駆者たちが挑み、成功させた実績が、国内外の醸造家や生産者から注目されるきっかけとなりました。

ワイナリーを巡り、目で舌で、個性豊かな空知産ワインの魅力に触れてみましょう。









「シャルドネ樽発酵」（左）「ピノ・ノワール」（右）



YAMAZAKIならではの爽やかな酸とミネラル感をお楽しみください

醸造責任者
山﨑 亮一さん

YAMAZAKI WINERY

三笠市達布山の麓で代々農業を営む山﨑和幸さんが、平成14年、一農家としては日本で初めてワインの醸造免許を取得。少量生産ながら、自社畑ブドウ100%にこだわり、独自の味わいを追究しています。世界5大陸から選ばれたピノ・ノワールの生産者が集う「ピノ・ノワール・セレブレーション・ジャパン2015」では、日本代表として選出されました。

●三笠市達布791番地22 ☎01267・4・4410 直売所10:00～17:00（11～4月は～16:00）、土曜・日曜・祝日のみ営業、見学は畑は可、醸造施設は不可







左から直売所限定販売の「ナイアガラスパークリング」。「オレンジピンクロゼ」、「RICCA雪の系譜シャルドネ」、「RICCA雪の系譜レンベルガー」。



宝水ワイナリー

丘陵地の一枚畑が美しい田園風景を描くワイナリー。ケルナー、レンベルガーからスタートした自社畑は、シャルドネやピノ・ノワールが加わり、現在は約9haにまで広がりました。自社畑ブドウ100%の「RICCA」「雪の系譜」は、岩見沢の気候風土を感じさせる人気シリーズ。映画のロケ地になったことでも話題になりました。

●岩見沢市宝水町364番地3
☎0126・20・1810 直売所10:00～17:00、1～3月の水曜休、見学は要予約





明治30年築の風情あふれる「小林家」

小林酒造

夕張川のほとりに、明治期の重厚なレンガ蔵と石蔵が立ち並ぶ老舗の蔵元です。小林酒造の歴史資料が展示された「北の錦記念館」の直売コーナーでは、全商品の購入や無料試飲が可能。ガイド付き酒蔵見学（要予約）を行っているほか、敷地内には明治30年築、初代・小林米三郎の住宅を一般公開している「小林家」（☎0123・76・7228 要予約、水曜休）など見どころが点在しています。（P21参照）

●栗山町錦3丁目109番地☎0123・72・1001 北の錦記念館10：00～17：00（11～3月は～16：00）、12/31～1/3休、記念館直通☎0123・76・9292見学は10名以上～受付、5日前までに要予約





「北の錦 特別純米 まる田」（左）720ml/1595円（税込）、「北の錦 純米 暖簾ラベル」（右）720ml/1430円（税込）

米どころで育まれる本物の〝地酒〟

清らかな水と空気に恵まれ、道内有数の米どころでもある空知では、古くから気候風土に寄り添った酒造りが行われてきました。

栗山の「小林酒造」は、明治初頭の創業以来、「北海道でしか醸せない酒」を追究。夕張山系の伏流水と道産米100%を原料に、道産子杜氏が正真正銘の〝地酒〟を醸しています。添加物を一切加えず、炭による濾過も行わない酒は、黄金色を帯びた独特の色合いが印象的です。

一方、北海道で酒造好適米の作付面積トップの新十津川に構えるのが、明治39年創業の金滴酒造。いち早く道産米を使った酒造りを始め、地元の米農家とともに、酒米の試験栽培・醸造にも取り組んできました。徳富川の伏流水と「吟風」など新十津川産の酒米にこだわり、地域に根差した酒造りを手掛けています。

水と米と風土、作り手の情熱が生み出す地酒は空知の宝物です。

金滴酒造

昭和40年代から道産米を使った酒造りに着手。現在は、ピンネシリ山系を源とする徳富川の伏流水を仕込み水に、「吟風」「彗星」「きたしずく」など地元産の酒造好適米で、新十津川町ならではの味わいを目指しています。少量生産ながら、職人が丁寧に醸す酒は、米のうま味や風味が生きたふくよかな味わいです。（P26参照）

●新十津川町中央71番地7 ☎0125・76・2341
直売所8:30～17:30（土曜・日曜・祝日は10:00～16:00）、無休、1月1日～3日定休、見学は要予約







「純米吟醸原酒 きたしずく」1650円（中）と「大吟醸酒 金滴」3087円（右）、各720ml。北竜町産米を使った「特別純米酒 北竜彗星」（左）の委託醸造も手掛けている（北竜町の「サンフラワーパークホテル北竜温泉」などで販売。☎0164・34・3321）

ワイナリー

10R WINERY

海外の名立たるワイナリーで活躍した後、栃木県で20年以上にわたって醸造を手掛けてきたブルース・ガットラヴさんのカスタムクラッシュ（受託醸造）ワイナリー。

●岩見沢市栗沢町上幌1123番地10
☎0126・33・2770
※直売所なし、見学は要予約



TAKIZAWA WINERY

札幌の老舗コーヒー店「可否茶館」の創業者・滝沢信夫さんがヴィンヤード運営を経て、平成25年に念願のワイナリーを開設。看板商品は自社畑ブドウ100%の「TAKIZAWA」など。

●三笠市川内841番地78
☎01267・2・6755 直売所10：00～16：00（11～3月は15：00まで）、土日火休、見学は要予約



マオイ自由の丘ワイナリー

ヤマソービニオンを中心とした山ブドウ系品種のワイン造りを営んでいます。他にもヒマラヤ、山フレドニア、岩松など、珍しい品種を使用したワインをリリース。

●長沼町加賀団体 ☎0123・88・3704
直売所10:00～17:00、土日祝のみ、1～3月は冬期休業、見学は要予約



ヴィンヤード

鶴沼ワイナリー

小樽市に本社を構える「北海道ワイン」の直轄ヴィンヤード。約100haを超える広大な畑では、多くのワインコンクールで常に上位入賞しているワイン用ブドウが栽培されています。

●浦臼町於札内428番地17
☎0125・68・2646
直売所9:00～16:00（季節によって変動あり）、年末年始定休、見学は要問合せ



ナカザワ ヴィンヤード

華やかな香りと爽やかな酸の余韻が魅力の白ワイン「クリサワブラン」のブドウを手掛けるヴィンヤード。自然に寄り添った栽培方法が特徴。

●岩見沢市栗沢町加茂川140番地
※直売所なし、見学は不可



KONDO ヴィンヤード

三笠市と岩見沢市栗沢町、2か所の農場それぞれの土地の個性を生かし、異なる品種を無作為に混ぜた混植栽培などを手掛けています。

●タプ・コブ農場／三笠市達布地区、モセウシ農場／岩見沢市栗沢町茂世丑774番地2
※直売所なし、見学は不可
http://www10.plala.or.jp/kondo-vineyard/



マリアージュを気軽に楽しめる！

そらちワイン「滝川BYOシステム」

空知にある9つのワイナリー&ヴィンヤードのワインを、滝川市内のホテルやレストランなど8の賛同飲食店へ無料で持ち込める新しいシステム。お気に入りのワインを持参し、気軽に地元食材とのマリアージュを楽しんでみては？ 賛同飲食店の情報などはホームページで確認を。
http://takikawabyo.net/main.html

※ワインの写真及び銘柄については、初版（平成28年9月発行）当時の情報となっております。最新の情報は各ワイナリーにご確認ください。

まだある！そらち酒

どぶろく 一魂（いっこん）



長沼町の阪農場が自家製米で手作りするどぶろく。普通、甘口から、とろりとした口当たりのもち米を使ったタイプまで5種類がそろいます。

販売店／農産物直売所 夢きらら
●長沼町西3線北12番地
☎090・3893・2405

長沼

ふかがわ シードル



深川産りんごを100%使用した果実酒。吟醸造りで丁寧に仕込み、発酵過程で生み出される炭酸とフルーティーな香りを閉じ込めました。

製造・販売／アップルランド山の駅おとえ
●深川市音江町字音江589番地28
☎0164・25・1900

深川

空知ブランドのクラフトビール



滝川クラフトビール工房が伝統的な醸造方法で手掛けるクラフトビール。空知ピルスナー、空知エール、空知ヴァイツェン、りんご&ドライの4種類をラインナップ。

販売店／滝川クラフトビール工房
●滝川市西滝川76番地1 滝川ふれ愛の里
☎0125・23・3008

滝川

farm restaurant

ファームレストラン

絶好のロケーションで旬を味わう農村ランチ

ファームレストラン リヴィスタ

Farm Restaurant RIVISTA

ミルクが香るモッツァレラに感激!



フレッシュトマトとモッツァレラのパスタ 780円

約40haの広大な放牧地で牛たちがのんびりと草をはむ岩瀬牧場の直営レストラン。自家牧場の新鮮な生乳から作るモッツァレラチーズを使ったパスタやピッツァが人気で、ミルクの優しい風味がとろりと溶け合います。

●砂川市一の沢237番地6
☎0125･56･2166
11:30～21:00(LO20:00)、
水曜休(ゴールデンウィーク、
夏休み期間の営業は要問合せ)、
年末年始定休







畑の中のレストラン EKARA

自社農園の野菜を中心に本格石窯や薪で焼いた料理が楽しめる滞在型レストラン。

●三笠市萱野158-1 ☎01267･2･5530
ランチ 11:00～15:30(LO14:00)
ディナー 18:00～20:30(LO19:30)
火曜休 ※営業時間・休日は季節によって変動あり



おうちごはん Komame

週替わりのデザートも楽しめるオシャレ空間

南幌町ののどかな田園風景にたたずむカフェ。今年の5月に新しくオープンしました。7～8種の新鮮野菜をのせた彩り野菜カレーや生姜キーマカレー、昔懐かしのスキレットナポリタンなど心温まる料理が魅力です。お隣の、地元で採れた新鮮野菜が並ぶ野菜直売所に立ち寄るのもオススメ。

●南幌町南16線西16番地
☎080･5910･2277
11:00～14:30、土日祝休



生姜キーマカレー 880円





ファームレストラン 大地のテラス

新鮮野菜が主役の農園ビュッフェ

ブラジルの名物料理「シュラスコ」と地場産野菜を中心としたサラダバーが大人気。シュラスコ食べ放題(大人2,700円)では大人気のシュラスコとサラダ、自慢のご飯やデザートなどが食べ放題!! シュラスコプレート(1,400円)は5種類のシュラスコが味わえるお得な単品メニューです。

●岩見沢市栗沢町上幌2203番地
☎0126･33･2020
平日ランチ 11:00～15:00(最終入店14:00)
土日祝日ランチ 11:00～16:00(最終入店15:00)
※冬期(12月～2月末まで)は土日祝日も平日ランチ時間となります。
金・土限定ディナー(要予約)18:00～21:00(最終入店19:00)、毎週水曜定休



夕日ヶ丘レストラン 善生(ぜんしょう)

ふっくらご飯で米のおいしさを実感

店主の善生さおりさんの実家は、栗沢で4代続く米農家。家族が丹精込めて育てた安心・安全なお米や野菜がメニューの主役です。

夕日ヶ丘オリジナルランチ
1,250円



●岩見沢市栗沢町栗丘124番地 ☎0126･45･5111 11:00～15:00(LO14:30)、平日17:00～20:30(LO19:30)、土日17:00～20:30(LO19:30)、月曜休(祝日の場合は営業、翌火曜休)、ほか月1回火曜不定休、年末年始定休 ※季節によって営業時間が変更となる場合があります

ファームレストラン ハーベスト

ポテト料理の食べ比べを楽しもう

長沼町でリンゴ園を営む農家のファームレストラン。コロッケやイモ餅、サラダなどジャガイモ尽くしの「農園ポテトセット」はボリューム満点です。

一番人気の
農園ポテトセット 1,150円



●長沼町東4線北13番地 ☎0123･89･2822 11:00～18:00(LO17:00)、土曜･日曜･祝日は～21:00(LO20:00) ※季節によって変動あり、木曜休、12～2月は木曜と第1･3水曜休、年末年始定休

キッチンファームヤード

野菜満載のスープスパイスが人気

自家農園の野菜やハーブ、果物を使い、ソースまで手作りにこだわる農家レストラン。野菜たっぷりのスープスパイスが看板メニュー。

農園サラダが付く
スープスパイスセット 1,250円～



●由仁町西三川913番地 ☎0123･86･2580 レストラン11:00～18:00(LO17:00)、1階カフェ11:00～18:00、火曜･水曜休(祝日の場合は営業、振替休業あり)、年末年始定休

搾りたてのミルクで作るフレッシュチーズに、季節ごとの野菜をたっぷり使ったプレートランチ、米農家のふっくらごはんなど。あちこちに点在するファームレストランで、産地ならではのおいしさと出合えるのも、空知を巡る醍醐味の一つです。自家農場や近郊の食材を生かした地産地消のメニューはもちろん、ゆったりと流れる時間や、のどかなロケーションもごちそう。

食後は、レストランに併設する直売所やショップで、新鮮な農産物、オリジナルの加工品などおみやげ選びを楽しみましょう。

cycling

サイクリング

ゆったりした風景をマイペースで駆ける グルメもお楽しみもいっぱいの空知ロード



田園風景に囲まれながらどこまでも続く、平坦な道路。気持ちよく風を切る、なだらかな勾配の道。ビギナーや子供でも〝お天気がいいから!〟と、思い立ったら気軽に走り出せるのが空知の道のイイところです。札幌や旭川から走りに来るファンも多く、「車道を離れて農道や生活路に入れば、ゆったり息づく〝人の暮らし〟があり、その雰囲気に触れながら走れるのがいい」のだそう。一方で山岳部には変化に富む起伏の場所も多く、「気分や好みに合わせてコース取りできる」のも魅力です。

農産物に恵まれた地の利を生かし、食と結びつけたサイクリング・イベントも開催。多彩なコースを紹介したサイトも充実しています。



空知のサイクリング・イベント

毎年開催されている恒例のサイクリング・イベントです。
いずれも、参加条件、参加費など、募集の詳細については問い合わせを。

北海道そらちグルメフォンド

開　催　8月ごろ
開催地　南空知





空知ならではのロケーションやスポットを楽しめるよう考えられたコース設定と、完走後に地元産の食材を使った「おもてなし料理」を味わえることで人気のイベント。空知の魅力をサイクリングを通して体感できます。

●詳細・問い合わせはWEBサイトへ　http://gf-sorachi.net/

由仁スノーライド

開　催　2月11日
開催地　由仁町の公道

由仁町の雪景色を楽しみながらグルメも満喫できる冬のサイクルイベント。ファットバイクやスパイクタイヤを装着したマウンテンバイクで走るファンライドです。ファットバイク試乗会もあわせて開催されます。

●由仁町産業振興課観光協会事務局
☎0123･83･2114

北海道スイーツライド in 北&中そらち

開　催　9月ごろ
開催地　北空知＆中空知





駆け抜けるだけではなく、そのまちで住民と触れ合い、会話し、彼らが作ったり育てたりしたものを味わってもらおうというイベント。途中で提供される「スイーツ」が、お菓子ほか果物や乾物、特産品などバリエーション豊かなのも魅力。

●北･中空知ツーリズム推進協議会(深川市商工労政課内) ☎0164･26･2264

さあ、どこ行こう?
と思ったらチェック!

そらちdeサイクリング

ポータルサイト

気の向くままに出かけるサイクリングも楽しそうですが、せっかくならオススメのコースを試してみませんか? 「そらちdeサイクリング ポータルサイト」では、サイクリング関連のイベント開催情報や、サイクルラックの設置場所、周辺のお立ち寄りスポットなどの情報を一元的に掲載しています。

チェック!
空知のまちのほとんどが独自のサイクリングコースを持っています。市町のHPをチェックしてみて

そらちdeサイクリング ポータルサイト
http://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/cyclingmain.htm

そらちdeサイクリング　検索



シューパロダム湖面ツアー

夕張



約3700万年前の地層に眠る太古の植物化石を採取



バードコール

ゆうばり自然体験塾

「まなぶ・つくる・かんじる」をテーマに、夕張の魅力をさまざまな体験や自然、人との関わりを通して伝えている。シューパロダムでのカヌー体験や約3700万年前の植物化石の採取、バードコール作りなど、地域の特色を生かした体験メニューが豊富だ。(P18参照)

●☎0167･22･1935(富良野事務所)
体験料はメニューにより異なる(要予約)
http://yubari-taikenjyuku.com



オオムラサキ



飼育舎外観

ふるさといきものの里 オオムラサキ館

豊かな自然環境など地域の魅力を発信する、自然学習や交流活動の拠点施設が2018年7月にリニューアルオープン。栗山町は国蝶・オオムラサキの日本の北東限生息地。地域に生息する昆虫や魚の展示、オオムラサキの羽化の様子も観察できる。羽化は7月上旬～中旬が見ごろ。(P21参照)

●栗山町桜丘2丁目38番地5 ☎0123･72･3000
10:00～17:00、火曜休、祝日の翌日休、入館無料

栗山

川流れ体験



スノーシュー探検



雨煙別(うえんべつ)小学校 コカ・コーラ環境ハウス

栗山の自然に触れながら、五感を使って楽しむ「ふるさと自然体験プログラム」を60種類以上用意。夕張川での川流れ体験や里山での焼き芋体験、夜の森の探鳥会、冬のスノーシュー探検など、ユニークなプログラムが満載。(P21参照)

●栗山町雨煙別1番地4 ☎0123･72･1696 9:00～18:00(12～3月は～17:00)、火曜休、年末年始休 体験料はプログラムにより異なる(要予約)
http://uenbetsu.jp



宮島沼

渡り鳥が数多く飛来するラムサール条約登録湿地。とりわけマガンの飛来地としては世界有数の存在だ。最大で8万羽を超えるマガンが沼から一斉に飛び立つ早朝と、群れが戻ってくる夕暮れ時のダイナミックな光景は、圧倒的な迫力で見る者を魅了する。マガンの最盛期は4月中旬～下旬、9月下旬～10月上旬。(P19参照)

●美唄市西美唄町大曲3区 ☎0126･66･5066(宮島沼水鳥・湿地センター) センター開館時間は9:00～17:00(マガン最盛期は延長あり)、月曜休館(祝日の場合は開館、翌平日閉館)、祝日の翌日休、年末年始休(マガン最盛期は休館日なし)
http://www.city.bibai.hokkaido.jp/miyajimanuma

美唄

空知を遊ぶ

1

山、川、湖沼、生き物たちの営み 大いなる自然と戯れる

中央部を縦走する大河・石狩川と、大地を縫うように流れるその支流の数々。南西部に広がる豊かな石狩平野。雨竜沼湿原のある暑寒別天売焼尻国定公園やシューパロ湖のある富良野芦別道立自然公園。マガンの飛来地として世界的に知られる宮島沼…。空知エリアの恵まれた自然環境は、枚挙にいとまがありません。

フィールドに飛び出せばその雄大さを全身で感じ取れるのはもちろん、遊びの要素を取り入れながら大人も子供も自然を享受できる、空知の特色を生かした体験メニューも豊富に用意されています。

国蝶・オオムラサキの羽化の様子やほたるが飛び交う日本の夏の原風景、渡り鳥をはじめとする野生動物たちの営みを、季節ごとに間近で見ることができるのも大きな魅力です。



毎年ほたるの見ごろに合わせて「ほたる祭り」も開催



1 平成2年からほたるの飼育を開始。今では「ほたるの里」全体に生息して自然繁殖するようになった。
2 暗闇の中に美しい軌跡を描くほたるの光。大人も童心に戻り幻想的なひとときを楽しめる。

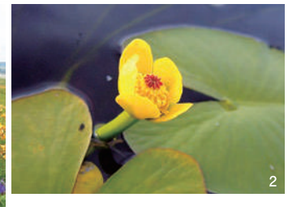
ほたるの里

自然豊かな幌新地区北部に広がる「ほたるの里」では、7月上旬～8月上旬、美しく幻想的に飛び交うほたるの光を散策しながら鑑賞できる。約8haの敷地内には人工水路や鑑賞ドームもあり、ほたる学習館も設けられている。(P29参照)

●沼田町幌新377番地 ☎0164･35･2155(沼田町産業創出課) 見学無料
※「ほたる保護条例」(沼田町制定)によりほたるの捕獲は禁止されている

沼田







1 ほぼ真円形の池塘があちこちに点在している。2 雨竜沼湿原の固有種ウリュウコウホネ。3 エゾカンゾウが咲く湿原。1周約4kmの木道が整備されている。

雨竜沼湿原

標高850mの高地に広がる日本有数の山岳型高層湿原。面積は約100ha。中央をペンケペタン川が大きく蛇行しながら流れ、大小700以上の池塘(ちとう)が点在している。春から秋にかけては200種類以上もの植物を観察できる。北海道遺産指定。ラムサール条約登録湿地。(P27参照)

●暑寒別天売焼尻国定公園・特別保護地区内雨竜沼湿原
ゲートパーク雨竜町338番地2 ☎0125･77･2673(雨竜町観光協会)

雨竜

豪快な滝と紅葉の美しいコントラストを楽しめる



三段滝公園

多くの人が訪れる紅葉の名所。高さ約10m、幅7mの階段状になった三段の岩を水しぶきをあげながら豪快に流れ落ちる滝と、その周囲を彩る紅葉の対比が美しい。見ごろは例年9月下旬～11月上旬。(P22参照)

●芦別市芦別 ☎0124･27･7380(芦別市都市建設課)

芦別

ここにしかない〝お楽しみ〟が満載
とびきりの体験が待っている

他にはあまりないユニークな体験ができるのも、個性豊かな市町がそろう空知エリアの特長です。

例えば創業100年を超える老舗から話題の新店、全国的な有名店まで19店舗が顔をそろえる「すながわスイートロード」という、スイーツ好きが集まる人気のグルメスポットがあります。また由仁の観光農園では、珍しい原木しいたけやフルーツなどの収穫体験ができ、三笠の桂沢湖では、一面の銀世界で冬の風物詩ワカサギ釣りを楽しめます。

さらに、ひと味違う個性的なスポーツにチャレンジできるのもうれしいところ。南幌では、本格的なカートコースを使ったモータースポーツを堪能できます。グライダーで大空からの眺めを満喫できるのは、たきかわスカイパーク。妹背牛では、初心者でも気軽に北海道らしい冬のスポーツ・カーリングに親しめます。



本格的なJAF公認カートコースの走行を楽しめる

南幌

南幌リバーサイドカートランド

全国でも珍しい町営のJAF公認カートコース。全長727m、全幅8m、最大直線長120mで、全日本クラスの大会も開催できる本格的なコース。レンタルカートもあり、子供から大人まで気軽にモータースポーツを堪能できる。(P20参照)

●南幌町夕張川河川敷内
☎090･8278･8159(管理棟) 4月中旬～11月中旬、レンタルカート利用時間は13:00～17:00(持ち込みカートとの交代制)、期間中無休(※レンタル不可の持ち込み占有日あり) レンタルカート料金は1500円(7分間)
http://www.town.nanporo.hokkaido.jp



滝川

グライダー体験

日本を代表するグライダーセンターの一つ「たきかわスカイパーク」では、広大な大地や石狩平野を雄大に流れる石狩川の眺めを500m上空から満喫できるグライダー体験が可能。春の風物詩の菜の花畑の絶景を楽しむのも一興だ。(P23参照)

●滝川市中島町139番地4
☎0125･24･3255(滝川スカイスポーツ振興協会) 4月下旬～11月中旬、搭乗可能時間は10:00～16:00、大人8000円、小学4年生～高校生4500円(30分間、説明込み)
※小学4年生(10歳)以上から参加可
https://www.takikawaskypark.jp



カーリングホール(冬季)

妹背牛



ふわふわドーム(夏季)



ウォータースライダー

妹背牛町カーリングホール

夏冬、2つの顔を持つ。冬は全国でも数少ない屋内カーリング専用施設。用具はレンタルOK(有料)で、初心者向けカーリング教室メニューも充実している。夏は「ふわふわドーム」などの遊具を完備した屋内遊具施設に変身。遊水公園うららの敷地内に建ち、すぐそばには人気のウォータースライダーもある。(P28参照)

●妹背牛町字妹背牛5181番地2 ☎0164･32･9511
【冬季･屋内カーリング専用施設】11～3月、10:00～22:00(土曜･日曜･祝日～21:00)、12月30日～1月6日休
利用料(1シート1時間)は大人1050円、高校生730円、中学生以下520円
【夏季･屋内遊具施設】5～9月中旬、10:00～17:00、月曜休(祝日の場合は翌日)
利用料は大人210円、高校生160円、小中学生100円、小学生未満無料



秋の桂沢湖は紅葉スポットとして人気

三笠

桂沢湖のワカサギ釣り

紅葉の名所としても知られる桂沢湖では、湖が凍ると、三笠市の冬の風物詩・氷上ワカサギ釣りが解禁される。きれいな水で育ったワカサギは、少々小ぶりだが甘みがあって美味と評判。天ぷらや唐揚げにして食べるのがオススメ。(P19参照)

●三笠市桂沢 ☎01267･6･8235(桂沢国設スキー場) 1月中旬～3月中旬、9:00～16:00 釣り穴利用料は300円(道具のレンタル、販売あり)

由仁



リンゴ狩り

昔ながらの方法で栽培する原木しいたけの収穫体験



ぶどう狩り



観光農園の収穫体験

町内には5カ所の観光農園があり、さまざまな収穫体験ができる。夏はプラムやサクランボ、秋はリンゴやブドウといった季節のフルーツ狩りをはじめ、昔ながらの原木しいたけの収穫も通年で楽しめる。(P20参照)

●☎0123･83･2136(由仁町観光協会)

すながわスイートロード

国道12号を中心に広がる人気の「お菓子の道」

スイーツの名店が数多くそろう砂川市。炭鉱が栄えた時代に甘いものを好んだ労働者のために菓子作りが発展したといわれています。国道12号を中心にバラエティー豊かなスイーツ店が立ち並ぶ「すながわスイートロード」は、市外からも多くの人が訪れる人気スポットです。(P24参照)

●すながわスイートロード ☎0125･54･2121(すながわスイートロード協議会事務局)
http://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/kankou/sweetroad/



shop data

❶岩瀬牧場　一の沢237番地6 ☎0125･53･5071
❷ドーナツcafé豆豆。　晴見1条北10丁目 ☎0125･54･0054
❸いよだ本店　東1条南2丁目 ☎0125･52･2015
❹カフェ ボレボレ　東5条南4丁目 ☎0125･74･4330
❺Life　東1条南7丁目 ☎0125･54･2326
❻cafe 笑飛巣　東7条南8丁目 ☎0125･74･5868
❼ナカヤ　東1条南10丁目 ☎0125･52･2575
❽吉川食品　東豊沼26 ☎0125･54･1611
❾北菓楼本店　西1条北19丁目 ☎0125･53･1515
❿北菓楼ハイウェイオアシス館店 北光336 ☎0125･53･2645
⓫ほんだ本店　西1条北11丁目 ☎0125･52･6321
⓬ほんだAiAi店　東1条南1丁目 ☎0125･52･2334
⓭プチ･トリフ山屋　西1条北9丁目 ☎0125･52･3477
⓮あまとう みに　西1条北3丁目 ☎0125･52･2429
⓯カフェ くるみる　西1条北1丁目 ☎0125･52･5022
⓰CAFE MEDERU　西1条南4丁目 ☎0125･74･5146
⓱SHIRO　西1条南5丁目 ☎0125･52･9646
⓲季の庭YA･YELL　西4条南5丁目 ☎090･1523･8833
⓳カフェ ルリ　西1条北2丁目 LINE:@neo5582r



flower

花

春から夏、そして秋
空知を彩るかれんな花たち

季節が移り変わるごとに、色とりどりのかれんな花々で覆われる空知の大地。エリア内には数多くの花の名所があります。

雪解け後、いち早く春の訪れを告げるのはカタクリの花。深川の丸山公園は道内有数の群生地です。咲き誇る桜のトンネルを楽しめるのは、奈井江のにわ山森林自然公園。滝川の江部乙地区では、広大な丘陵地帯一面に菜の花畑が広がります。胡蝶蘭の生産地として有名な赤平では、毎春、道内最大規模の蘭の展示会を開催しています。

初夏と秋の2回、見ごろを迎えるのがバラです。空知には、秩父別のローズガーデンちっぷべつ、岩見沢のいわみざわ公園バラ園があり、ゆったりと鑑賞できます。日本最大規模のひまわり畑を誇る北竜では、ひまわりの巨大な迷路で遊ぶこともできます。また、由仁の英国風庭園・ゆにガーデンでは、グローリーオブザスノーやリナリア、コスモスなど、春から秋まで途切れなく花のリレーを楽しめます。

丸山公園

深川

道内でも珍しいカタクリの群生地。雪解け間もない5月上旬、園内は薄紫色のカタクリの花で埋めつくされる。見ごろは約1週間。敷地内には同公園を訪れた北原白秋の歌碑もある。(P27参照)

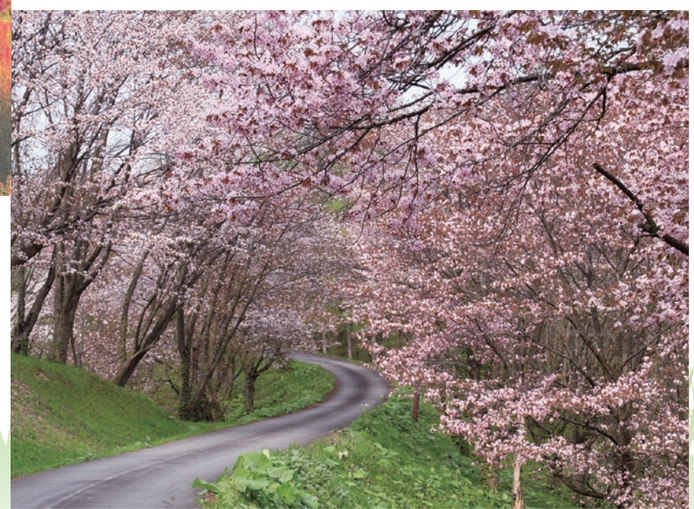
●深川市一已町一已2527番地78 ☎0164・34・5581(深川観光協会) 無休(冬季間閉鎖)

にわ山森林自然公園

奈井江

エゾヤマザクラやソメイヨシノなど約1800本が植えられ、桜のトンネルの中を散策しているような趣を楽しめる。見ごろは5月上旬～中旬。奈井江の街並みや樺戸連山を一望できる展望台もある。(P25参照)

●奈井江町東奈井江59番地7 ☎0125・65・2118(奈井江町産業観光課)
5～10月、8:30～日没(季節により異なる) 入園無料





滝川

菜の花畑

5月中旬～6月上旬、菜の花の黄色いじゅうたんが江部乙地区を中心に市内一面に広がる。菜の花畑は滝川の春の風物詩。見ごろに合わせて「たきかわ菜の花まつり」も開催。(P23参照)

●たきかわ観光協会 ☎0125・23・0030



秩父別

ローズガーデンちっぷべつ

約300種類3000株のバラが咲き誇る、総面積5.4haの花と緑の野外レクリエーション施設。バラの敷地は約3000㎡。園内で販売しているバラの香りと味を楽しめるローズソフトも人気だ。(P28参照)

●秩父別町3条東2丁目 ☎0164・33・3375(北雄美装株式会社) 6月下旬～10月上旬(期間中無休)、9:00～17:00(入園は16:45まで) 入園無料



soft cream

きれいなピンク色のローズソフト(300円)。バラから抽出したエキスが入っている。



赤平

らんフェスタ赤平

赤平市は東北以北では最大規模の胡蝶蘭の生産地。毎年4月、道内最大規模となる蘭の展示会「らんフェスタ赤平」を開催。胡蝶蘭やクールオーキッドなど世界のさまざまな蘭を一堂に展示する。(P23参照)

●赤平市泉町4丁目1番地
☎0125・32・1841(らんフェスタ赤平実行委員会事務局)





岩見沢

いわみざわ公園バラ園

約4haの敷地で約630品種8800株のバラとハマナスを無農薬栽培している。花の見ごろは6月下旬～10月中旬。園内ではローズソフトも販売。例年7月上旬～中旬、あやめとバラの祭典「彩花まつり」も開催している。(P18参照)

●岩見沢市志文町794番地 ☎0126・25・6111(室内公園 色彩館) 9:00～17:00(季節により延長あり)、無休 入園無料、室内公園は大人100円、小中学生50円
http://www.iwamizawa-park.com

由仁





ゆにガーデン

15のテーマガーデンからなる庭園では、オープンと同時にムスカリ、チューリップ、サクラ、ハナモモの春の花の開花リレーに続いて、夏には、シャクヤクやローズガーデンのバラが咲き誇ります。また、秋には北海道最大級のコキアの紅葉をお楽しみ頂けます。地元近郊の野菜を使用したレストランやカフェもあり、ご家族やお友達、恋人とドライブにピッタリのスポットです。
(P20参照)

●由仁町伏見134番地の2 ☎0123・82・2001
https://yuni-garden.co.jp/



北竜

北竜町ひまわりの里

見ごろは7月下旬～8月上旬。約200万本のひまわりで、23.1haの丘一面が黄色に染まる。開花シーズンに合わせて毎年「ひまわりまつり」を開催。趣向を凝らしたデザインの巨大なひまわり迷路(有料)は名物になっている。(P29参照)

●北竜町坂谷143番地2 ☎0164・34・2082(ひまわり観光センター)



安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄

美唄市出身の世界的彫刻家・安田侃氏の作品を展示する野外彫刻美術館。1981年に閉校となった旧栄小学校の木造校舎と周囲の自然に現代アートが融合する憩いの広場となっています。(P3参照)

●美唄市落合町栄町 ☎0126-63-3137 9:00～17:00、火曜休、祝日の翌日休（日曜は除く）、12月31日～1月5日休 入館無料



東明公園

空知随一の桜の名所として知られる東明公園。カリヨンが見守る園内には2000本を超える桜が咲き誇り、美唄に春の訪れを告げます。毎年、満開となる5月上旬～中旬には桜まつりを開催。

●美唄市東明町2区 ☎0126-63-0138（美唄市都市整備部）



ピパの湯 ゆ～りん館

桜の名所・東明公園がある丘の上の温泉宿泊施設。イタリア・カプリ島の「青の洞窟」をイメージした露天風呂が人気です。夜になると青くライトアップされ、眼下には美唄市街の夜景が広がります。

●美唄市東明町3区 ☎0126-64-3800 日帰り入浴7:00～22:00、無休、入浴料は大人650円、子ども300円、幼児無料

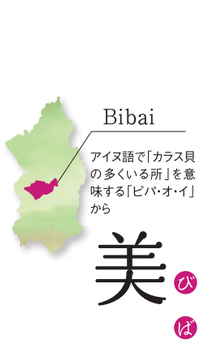


特産品

米粉パン

米どころの美唄では、米粉の活用にも力を入れています。中でも米粉を使ったパンはもっちりとした食感で人気。製造は市内のパン工房「すずうらベーカリー」が手がけています。

●美唄市�envelope巳町2区 ☎0126-64-2089 9:00～19:00、火曜休（時期によって変動あり）



Bibai

アイヌ語で「カラス貝の多くいる所」を意味する「ピパ・オ・イ」から

美唄（びばい）

農業と自然が調和する実り豊かな田園のまち

日本一の直線道路（国道12号＝29.2km）、ラムサール条約登録湿地「宮島沼」、安田侃彫刻美術館「アルテピアッツァ美唄」、美唄焼き鳥…など、全国的・世界的に有名な〝名物〟を数多く持つまち・美唄。ほかにも、約2000本の桜が咲き競う桜の名所「東明公園」や、雪冷熱エネルギーを活用した施設などが挙げられます。農産物では米のほか、ハスカップやアスパラガスも人気です。

炭鉱関連の施設（P3参照）も観光スポットとして注目されています。

美唄市 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR美唄駅まで約35分、JR旭川駅から同じく約50分

自動車利用／札幌から道央自動車道美唄IC経由で約40分、旭川から同じく約50分

【お問い合わせ】

美唄市経済部経済観光課観光振興係 ☎0126-63-0112（直通）

ホームページ／http://www.city.bibai.hokkaido.jp/

【移住・定住のお問い合わせ】

美唄市総務部企画広報課企画係

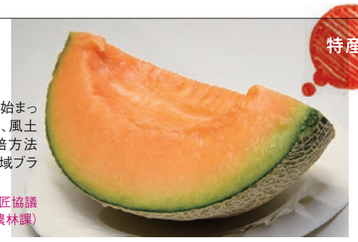
☎0126-62-3137（直通）

旧幾春別炭鉱錦立坑櫓

三笠ジオパーク

アンモナイトの時代から炭鉱まちとして栄えた現在まで、一億年の時間旅行が楽しめる三笠ジオパーク。市内各エリアで、地層や炭鉱遺産、鉄道などこの地に息づく歴史や文化に親しむことができます。(P3、4参照)

●三笠市幸町2番地 ☎01267-2-3997（三笠ジオパーク推進協議会）



特産品

三笠メロン

三笠でメロンの栽培が始まったのは大正時代。以来、風土に合わせた独自の栽培方法で、三笠メロンという地域ブランドを確立してきました。

●北海道三笠メロン食の匠協議会 ☎01267-2-3996（農林課）



三笠北海盆おどり

北海盆唄発祥の地といわれる三笠で最も大きなお祭りです。幾層もの踊りの輪が高さ8mの櫓を囲み、生唄・生演奏で盆おどりが行われます。仮装盆おどりや花火大会、石炭カツギレースなど多彩なプログラムがあり必見です。

●三笠中央公園 ☎01267-2-2249（実行委員会）



道の駅 三笠

国道12号沿いに位置する北海道第一号の道の駅。巨大な水車が目印の「農の館」では、三笠で昔使われていた農機具を紹介。地元の農産物などを販売する売店やパークゴルフ場、日帰り入浴・宿泊ができる温泉施設もあります。

●三笠市岡山1056番地1 ☎01267-2-5775 9:00～18:00（施設・時期により異なる）、月曜休（祝日の場合営業、翌日休）

囚人が故郷の奈良を偲んで集治監の裏山を三笠山と呼び、明治39年に3村合併した際にそこから命名

Mikasa

三笠（みかさ）

歴史を受け継ぎながら新たな魅力を創出

北海道における石炭産業の発祥地であり、石炭を運搬するための産業鉄道が日本で最初に誕生した三笠。現在、その歴史や施設を活用した産業遺産を観光スポットとしているほか、地域資源を活かした「三笠ジオパーク」の整備などを行い、新たなまちの魅力づくりに取り組んでいます。

道内公立高校で唯一の「食物調理科」がある市立三笠高校では、高校生レストラン「MIKASA COOKING ESSOR（ミカサクッキングエソール）」がオープンし、賑わいを見せています。

三笠市 Data

公共交通／札幌駅前ターミナルから中央バス（都市間高速バス）で1時間16分

自動車利用／札幌から道央自動車道三笠IC経由で約30分、旭川から同じく約1時間

【お問い合わせ】

三笠市企画財政部企画調整課企画係 ☎01267-2-3182

ホームページ／http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/

【移住・定住のお問い合わせ】

三笠市企画財政部政策推進課定住対策係

☎01267-2-3182

他 日ハム・コンサドーレの指導者招致や市営塾の開設など子どもたちへの支援



幸福の黄色いハンカチ想い出ひろば

高倉健、倍賞千恵子が主演した山田洋次監督による名作「幸福の黄色いハンカチ」のロケ地となった炭鉱住宅を保存。風にはためく黄色いハンカチは、映画のシーンそのまま。

●夕張市日吉5番地 ☎0123-57-7651（ゆうばりファンタ）9:00～17:00（4月下旬～11月上旬、期間中無休） 入館料は大人550円、子ども300円、シニア500円

特産品



夕張メロン

国内外にその名が知れ渡る高級赤肉メロン。栽培方法や地域性による高い品質と評価を示す農林水産省のGI制度に認定され、今や日本を代表する高品質メロンに成長。





提供：ゆうばり国際ファンタスティック映画祭実行委員会

ゆうばり国際ファンタスティック映画祭

イマジネーションとエンタテインメント性豊かでファンタスティックな映画を国内外から集めて上映。俳優陣や監督、スタッフと市民をはじめとする観客がふれあえる映画祭。

●☎0123-57-7651（ゆうばりファンタ）

毎年夏に開催



滝の上公園

夕張川の浸食によってできた、奇岩や大小無数の滝からなる渓谷。紅葉の名所でもあります。

●夕張市滝ノ上5番地 ☎0123・52・3128

開園期間：6月～11月上旬

Yubari

アイヌ語で「鉱泉のわき出る所」を意味する「ユウパロ」から

夕張（ゆうばり）

石炭のまちから映画とメロンのまちへ

美味しいメロンが全国的に有名な夕張は、炭鉱の街としての歴史に幕を下ろして以来、国際的な映画祭をはじめとするイベントや、自然を活かした観光を通して魅力づくりに取り組んできました。2016年からは「RE START! More Challenge!」というスローガンのもと、〝夢〟を主語に、〝挑戦するまち〟へと歩み始めました。地域のチャレンジを支援する仕組みづくりや夕張高校の特色ある教育を応援するなど、次代を担う「人づくり」に力を入れています。

夕張市 Data

公共交通／JR札幌駅からJR新夕張駅まで特急で約1時間30分

自動車利用／札幌から道東自動車道夕張IC経由で約1時間20分。旭川から道央自動車道岩見沢IC経由で約2時間

【お問い合わせ】

夕張市地域振興課 ☎0123・52・3128

ホームページ／http://www.city.yubari.lg.jp

【移住・定住のお問い合わせ】

夕張市地域振興課 ☎0123・52・3141



特産品

「純米 ゆあみさわ」

岩見沢産の酒造好適米「彗星」で仕込んだ口当たりが良く芳醇な味わいの純米酒です。JAいわみざわAコープをはじめ、市内各店で販売。

ログホテル メープルロッジ

毛陽小学校の跡地を利用し、カナダ産の丸太で建てられたログハウス風のホテル。岩見沢産の食材を使った洋食に舌鼓を打ち、天然温泉に浸かってゆっくりくつろげます。

●岩見沢市毛陽町183番地2 ☎0126・46・2222 日帰り入浴11:00～20:00、入浴料は大人800円、子ども250円



いわみざわ公園バラ園

6月下旬～10月中旬にかけて、約8800株のバラとハマナスが次々に咲き誇ります。(P17参照)

●岩見沢市志文町794番地 ☎0126・25・6111（色彩館）



いわみざわ百餅祭り

200kgの杵をみんなで持ち上げ、一気に上から突き落として1俵の餅をつくお祭り。つきたての餅は見物客に振る舞われます。毎年、9月の敬老の日を最終日とした3日間で開催。

道路工事の作業員が川で水浴し「浴澤（ゆあみさわ）」と呼んだのが転訛

Iwamizawa

岩見沢（いわみざわ）

バラが季節を告げる空知エリア最大の都市

冬には豪雪のまちとして知られる岩見沢ですが、春～秋には、のどかな田園風景や道内最大級のバラ園の眺め、ワイナリー探訪、遊園地「北海道グリーンランド」などを楽しむことができます。秋には、世界一サイズ（直径2・2m）の日で一俵（60kg）の餅をつきあげる豪快な「いわみざわ百餅祭り」があり、真冬には名物「きじ鍋」が振る舞われる「IWAMIZAWAドカ雪まつり」を開催。空知の炭鉱遺産の情報を網羅したセンター（P2参照）も、ここ岩見沢にあります。

岩見沢市 Data

公共交通／JR札幌駅からJR岩見沢駅まで特急で約25分、普通列車で約45分、もしくは都市間高速バスで約1時間。JR旭川駅から特急で約1時間

自動車利用／札幌から道央自動車道岩見沢IC経由で約30分、旭川から同じく約1時間

【お問い合わせ】

岩見沢市経済部観光物産振興課 ☎0126・23・4111（内線:277）

ホームページ／http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/

【移住・定住のお問い合わせ】

岩見沢市企画財政部企画室

☎0126・23・4111（内線:424）

移住促進マークの見方 住宅支援 就業・起業支援 新規就農支援 子育て支援 福祉（高齢・介護） 短 短期滞在プラン（お試し暮らし） 他 その他

旧村名の幌向（ホロムイ）はアイヌ語で「大きい入江（湾）」を意味する「ポロムイ」からとも

Nanporo

南幌（なんぽろ）



ピュアホワイト・あまいんです

生でもフルーツのような甘さが楽しめるトウモロコシ「ピュアホワイト」と「あまいんです」。
北海道で早くから栽培を手がけたのが南幌町の生産者グループです。

●南幌町明るい農村ネットワーク ☎011･378･1462

ふるさと物産館ビューロー

町内全体を見渡せる高さ26mの展望台を有する、まちのシンボルです。館内には特産品の販売所をはじめ、軽食喫茶コーナーや情報コーナーもあります。

●南幌町中央1丁目2番22
☎011･378･7020
6:30～21:00、12月31日～1月3日休　入館無料





なんぽろ温泉ハート＆ハート

源泉かけ流しの湯が楽しめる温泉宿泊施設。七色にライトアップされる回廊が湯めぐり気分を演出します。レストランではなんぽろ温泉名物のキャベツ天丼を召し上がれ。

●南幌町南9線西15番地　☎011･378･1126　日帰り入浴10:00～22:00、無休、入浴料は大人650円、子ども300円

なんぽろリバーサイド駅伝

広大な大地を駆け抜ける駅伝。キャンプなど多目的アミューズメントとして人気があるなんぽろリバーサイド公園と、田園風景が広がる町道コースを走り、家族や友人でタスキをつなぎます。特産品等を販売する「なんぽろいちば」も同時開催。

●☎011･378･2121（南幌町まちづくり課）



注目イベント

大都市札幌に一番近い豊かな農業のまち

札幌や新千歳空港から車で1時間圏内にありながら、広大な田園風景を持つ南幌。まちの約7割が農地で、新鮮な農作物が豊富に生産されています。中でもキャベツは道内有数の産地で、それを使った「南幌キャベツキムチ」には根強いファンが。また最近は甘く白いトウモロコシ「ピュアホワイト」が人気を高めています。町内で最も生産量が多いのは「米」。「ゆめぴりか」や「ななつぼし」などの良食味米がまちの自慢です。「美味しい」と、町内外にファンを増やしています。

南幌町 Data

公共交通／JR札幌駅から快速でJR北広島駅へ、JRバスに乗り換えて約45分。中央バス（都市間高速バス）で約40分
自動車利用／道央自動車道江別東IC経由で札幌から約35分、旭川から約1時間30分
【お問い合わせ】
南幌町まちづくり課 ☎011･378･2121
ホームページ／http://www.town.nanporo.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】 同上



小林酒造

北海道でもっとも古い酒蔵として伝統を守り、今も愛され続ける日本酒を醸造しています。毎年4月上旬には、谷田製菓（大正2年創業）とジョイントした「くりやま老舗まつり」が開催され、2万人を超える来場者でにぎわいます。（P3、9参照）

●栗山町錦3丁目109番地 ☎0123･72･1001

特産品

シャトレーゼ ゴルフ＆スパリゾートホテル栗山

丘陵地帯に広がる本格27ホールを有するゴルフ場。ラグジュアリーな宿泊施設と天然温泉、洋菓子店を備えたリゾートとして、癒やしの場としても親しまれています。

●栗山町森 ☎0123･72･6600
4月上旬～11月中旬、冬期休業



まちの駅「栗夢プラザ」

栗山町の特産品を販売するほか、「まちの案内人」が町内の情報を発信しています。栗山町を訪れるなら、まずはここに立ち寄ってから。

●栗山町中央2丁目92番地 ☎0123･73･5515
10:00～17:00、水曜休、年末年始休



栗の樹ファーム

栗山英樹さん（現・北海道日本ハムファイターズ監督）の夢を実現させた少年野球場や野球グッズを展示するログハウスから成る施設。映画「フィールド・オブ・ドリームス」さながら、トウモロコシやひまわりを外野のフェンスに見立てた夢のある球場です。

●栗山町湯地22番地25 ☎0123･72･3917
4～9月11:00～15:30、10～3月11:00～15:00、月曜・火曜休　入館無料



アイヌ語で「栗の木の繁る所」を意味する「ヤム・ニ・ウシ」から

Kuriyama

栗山（くりやま）

豊かな自然環境を守る国蝶オオムラサキの里

栗山は、国蝶オオムラサキの国内で北東限の生息地。1980年代の発見を機に、豊かな自然環境を守ることやそれを学ぶ自然教育への取り組みを進めてきました。（P13参照）

平野部と山間部の中間であり、かつ道内における北方圏と南方圏の気候が交わる位置にあるため、多品種・多品目の農産物を生産できることがまちの特長です。

また、名前が縁で栗山英樹監督と交流があることも、まちの自慢。地域での行事や活動を通じて長年に渡り、住民との交流が続いています。

栗山町 Data

公共交通／JR札幌駅からJR岩見沢駅経由でJR栗山駅まで約1時間、もしくは中央バス（都市間高速バス）で約1時間
自動車利用／札幌から道央自動車道江別東IC経由で約45分
【お問い合わせ】
栗山町経営企画課地域政策グループ ☎0123･73･7502
ホームページ／http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】
栗山町若者定住推進課（くりやま移住促進協議会事務局）
☎0123･73･7521
空き家・空き地バンク



夏まつり百足競走

毎年7月下旬に開催される由仁町の一大イベント。小さな子どもから大人まで部門ごとにチームを作り、タイミングを合わせてムカデ競走を行います。出場する人も観戦する人も、心をひとつに大盛り上がり。百足競走は由仁町のカントリーサインにもなっています。

●由仁町東栄87番1
（文化交流館ふれ～る前）



ヤリキレナイ川

町内を流れるユニークな名前の川ですが、語源はアイヌ語で「魚の住まない川」を意味する「ヤンケ・ナイ」や「片割れの川」を意味する「イヤル・キナイ」と言われています。また、明治時代に氾濫を繰り返したため、住民たちが「ヤリキレナイ」と呼び始めたという説も。

ポッポ館

旧JR由仁駅の駅舎を改築し、観光案内所やバスやJR、タクシーの待合所として活用されている施設です。観光案内ボランティアも常駐。由仁町を知るための拠点として活躍しています。

●由仁町本町364番2 ☎0123･83･2355
10:00～16:00（土曜・日曜・祝日9:00～15:00）、無休



特産品



由仁町産イチゴ

ジャガイモやタマネギ、メロンなどさまざまな農作物が収穫される由仁町。中でも、イチゴの評判は指折りです。自然豊かな環境で育ったイチゴは大粒で甘みたっぷり。町内にはイチゴ狩りが体験できるファームやイチゴを生かしたアイスクリームやスイーツのショップもあります。

●由仁町観光協会 ☎0123･83･2136

アイヌ語で「温泉のある所」を意味する「ユウンニ」から

Yuni

由仁（ゆに）

豊かな農作物と豊かな時間のあるまち

時間がゆったりと流れていくかのような田園風景の由仁。実は新千歳空港に近く、札幌をはじめとする道内主要都市へのアクセスもいい良好なポジションにあるまちです。有名なガーデン、温泉、ゴルフ場があるため、札幌や旭川などから訪れる人も多数。観光スポットとしては、馬追丘陵からの景観もオススメです。

農産物の中では「種馬鈴しょ」（タネイモ）の道外出荷量が日本一。「ジャガイモのふるさと」として全国各地の農家のもとへ届けられ、美味しいジャガイモのもとになっています。

由仁町 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR岩見沢駅へ、普通列車に乗り換えJR由仁駅まで約1時間、JR旭川駅から同じく約1時間30分
自動車利用／札幌から国道274号経由で約1時間、旭川から道央自動車道岩見沢IC経由で約2時間
【お問い合わせ】
由仁町地域活性課 ☎0123･83･2112
ホームページ／http://www.town.yuni.lg.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】
由仁町移住交流支援センター ☎0123･83･3755
ホームページ／http://yuni-sumai.com/

北海道で初の刑務所である樺戸集治監の初代典獄・月形潔の姓から

Tsukigata

月形（つきがた）



月形樺戸博物館

明治初期に起きた数々の内乱から出た逮捕者を収監するため、全国で3番目、北海道で初の刑務所として建てられた樺戸集治監。その歴史や月形町の歩みを体感することができる博物館です。（P3参照）

●月形町1219番地
☎0126-53-2399
12/1～3/19休館





つきがた夏まつり

毎年7月最終土・日曜に開催される町内最大のイベント。ステージショーや農産物販売、迫力満点の花火大会などで盛り上がる。会場は皆楽公園エリアとなっており、キャンプや温泉と共に楽しむことができる。



月形温泉ホテル

日帰り入浴施設「月形温泉ゆりかご」に併設する宿泊施設が月形温泉ホテルです。露天風呂や寝湯、バイブラバスでゆっくり温まったら、ホテルでくつろぎ、月形観光を楽しむことができます。

●月形町81番地10　☎0126-37-2188　日帰り入浴10:00～22:00、第3火曜休、入浴料は大人550円、小学生250円

皆楽公園

町民の憩いの場として活用されている水と緑が調和する公園。敷地内にはキャンプ場やバーベキューコーナー、パークゴルフ場、月形温泉があり、公園の周囲3kmはサイクリングロードになっています。春には白鳥が飛来。

●月形町皆楽公園 ☎0126-53-2577

白鳥が飛来し暮らしに花あるまち

明治14年、全国で3番目・北海道初の刑務所として「樺戸集治監」が設置され（P3参照）、月形はそれとともに発展してきました。

現在の基幹産業は農業。米の生産調整のために始めた花の栽培は、カーネーションやユリなど100品目500品種を栽培・出荷。月形は、北海道有数の〝花の里〟なのです。また、メロンやスイカの生産地としても有名。

意外なところでは、町内全域に光回線を整備済みという顔も持っています。

月形町 Data

公共交通／JR札幌駅から北海道医療大学駅を経由して札沼線月形当別バスに乗車し、月形駅まで約1時間20分
自動車利用／札幌から国道275号経由で約1時間10分
【お問い合わせ】
月形町企画振興課商工観光係 ☎0126-53-2325
ホームページ／http://www.town.tsukigata.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】
月形町企画振興課企画係 ☎0126-53-2325





注目イベント

炭鉱遺産ガイダンス施設

平成30年7月にオープンした「炭鉱遺産ガイダンス施設」は貴重な炭鉱資料を展示しており、周辺には「旧住友赤平炭砿立坑櫓」、「自走枠工場」、「坑口浴場」もあり、炭鉱遺産を一体的に見学することができます。（P3参照）

●赤平市字赤平485番地　☎0125-74-6505　9:30～17:00、月曜・火曜休（祝日等により変動あり）、入館無料・ガイド料要問い合わせ





あかびら火まつり（火文字・ズリ山）

赤いふんどしを締めたランナーが、炎が灯されたたいまつを持って市内3か所から火まつり会場を目指して走り、一つの火に集火します。その火が旧赤間炭鉱のズリ山に「火文字」を描き、赤く燃え上がる様子は荒々しさと厳かさを演出。花火大会も行われる、赤平最大のイベントです。

●赤平コミュニティ広場 ☎0125-32-1841（あかびら火まつり実行委員会）

アイヌ語で「山稜の崖」を意味する「アカピラ」から

Akabira

赤平（あかびら）

がんがん鍋

かつて炭鉱長屋の石炭ストーブで作られていた味噌ベースのホルモン鍋です。（P6参照）





情報発信基地 AKABIRAベース

目を引く個性的な外観の「情報発信基地AKABIRAベース」は地元特産品の販売と観光情報の発信をしているアンテナショップ。夏は野菜直売所として赤平産の新鮮野菜を販売しており、「水曜どうでしょうグッズ」や「あかびらホットレッグ」なども購入することができます。

●赤平市幌岡町54番地 ☎0125-32-1841（赤平市商工労政観光課）10:00～18:00（時期により変動あり）、火曜休

赤平市 Data

公共交通／JR札幌駅からJR赤平駅まで約1時間10分、JR旭川駅から同じく約50分
自動車利用／札幌から道央自動車道滝川IC経由で約1時間20分、旭川から同じく約1時間
【お問い合わせ】
赤平市企画課 ☎0125-32-1834
ホームページ／https://www.city.akabira.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】 同上

ワンストップ相談窓口

炭鉱の面影を残し新たな産業で再脚光

炭鉱で栄えたまち赤平。炭鉱閉山後は「鉱業から工業へ」転換し、カバンや革製品、木材加工など、優良企業が集まる〝ものづくりのまち〟です。特にカムイ型ハイブリッドロケットを共同開発した「植松電機」（植松努社長）は〝リアル下町ロケット〟と呼ばれて注目されています。市内には流政之の作品が並ぶ彫刻公園や、温泉、オートキャンプ場があるエルム高原もあり、近年は、赤平出身の鈴井貴之監督がドラマのロケを行ったことでも話題になりました。

中空知エリア



芦別温泉スターライトホテル

美しい星空と四季折々の自然が出迎える温泉ホテルです。北海道では第1号の「おふろCafé星遊館」として、2019年12月にリニューアルオープンし、温泉は「化粧の湯」と呼ばれるほど、滑らかな肌触りと高い保湿性が特徴。入浴後はお化粧ののりが良くなると評判です。北海道の食材をふんだんに使ったお料理も自慢です。

●芦別市旭町油谷1番地　☎0124-23-1155　日帰り入浴6:00～22:00（最終受付21:00）、メンテナンスのため休館日あり、入浴料は大人90分コース760円（会員）、大人フリータイム1,090円（会員）、会員登録は大人1名200円（税別）、未就学児は無料



道の駅「スタープラザ芦別」

星の降る里・芦別にちなみ、星型トイレをはじめ、あちらこちらに星を散りばめた道の駅。特産品が揃う売店やガタタンラーメンが人気のレストランも。

●芦別市北4条東1丁目1番地
☎0124-23-1437



郷土料理「芦別ガタタン」

炭鉱で栄えた頃から地元で親しまれてきた家庭料理です。（P6参照）

ご当地グルメ



芦別健夏まつり

毎年7月中旬の土・日曜に開催される市内の一大イベント。祭りのメインとなる健夏山笠は、本場の博多祇園山笠振興会から唯一「北の山笠」として認められています。重さ約1トンもの山が疾走する様子は迫力満点。

●お問い合わせ ☎0124-27-7700（実行委員会）芦別駅前通ほか

アイヌ語で「低木の中を流れる川＝ハシュペツ」と「両岸の切り立った峡谷の地＝アシペツ」の2説あり

Ashibetsu

芦別（あしべつ）

自然が豊かなまち「星の降る里・芦別」

全国屈指の広大な面積を持ち、その約88％が森林の芦別。星空の美しさが環境庁（当時）に認められ、昭和63年「星空の街」に認定。「星の降る里・芦別」として全道に知られるようになりました。

自然災害が少なく、主要都市へのアクセスも良好と、豊かな自然の中で快適に暮らせるまちであることが魅力。また、恵まれた気候が生む芦別米や芦別メロン、サクランボなどの豊富な農作物も魅力的です。炭鉱で栄えた当時から伝わる料理「ガタタン」も名物としてまちのPRにひと役買っています。

芦別市 Data

公共交通／JR札幌駅からJR滝川駅を経由してJR芦別駅まで約1時間40分、JR旭川駅から同じく約1時間20分
自動車利用／札幌から道央自動車道滝川IC経由で約1時間30分、旭川から同じく約1時間
【お問い合わせ】
芦別市商工観光課観光振興係 ☎0124-22-2111（内線232）
ホームページ／http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp
【移住・定住のお問い合わせ】
芦別市企画政策課まちづくり推進係
☎0124-22-2111（内線293）



滝川市美術自然史館

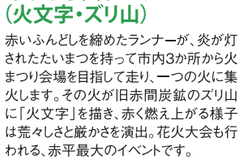
美術部門と自然史部門を併せ持つ博物館。美術部門では滝川出身の日本画家・岩橋英遠の作品などを、自然史部門では500万年前に生息していたタキカワカイギュウの骨格標本などを展示。

●滝川市新町2丁目5番30 ☎0125-23-0502　10:00～17:00（入館は16:30まで）、月曜休（祝日の場合開館）、祝日の翌日休、年末年始休　入場料は大人630円、小学生120円ほか

ご当地グルメ

ジンギスカン

北海道を代表する郷土料理として北海道遺産にも登録されているジンギスカン。滝川は味付けジンギスカン発祥の地といわれており、市内では多くのジンギスカン店が独自の味を守り続けています。（P7参照）





道の駅 たきかわ

ジンギスカンをはじめ、季節の野菜や手作りみそなど滝川市の特産品販売や、地域の観光情報を発信しています。

●滝川市江部乙町東11丁目13番3 ☎0125-26-5500、9:00～18:00（4～10月）、9:00～15:00（11～3月）12月31日と1月1日休（時期・施設によって変動あり）

グライダー

日本中からグライダー愛好者が集まり、初心者でも気軽にグライダー体験が楽しめる「たきかわスカイパーク」は全国トップクラスの設備を誇ります。（P15参照）

Takikawa

アイヌ語の地名「ソーラップチ」が「滝下る川」の意であることから

滝川（たきかわ）

菜の花が大地を彩るどこまでも空が高いまち

市内に春の風物詩である菜の花畑や、北海道らしい牧歌的な江部乙地区があり、美しい景観が広がる田園のまちでありながら、同時に都市機能も整備されている〝暮らしやすさ〟が特長の滝川。札幌や旭川へのアクセス環境も良好です。

上昇気流が発生しやすい土地柄からスカイスポーツが盛んなほか、文化・アート系イベントも盛ん。空知のワインを応援する「滝川BYO」（P9参照）も実施するなど、さまざまなジャンルの魅力を発信し続けるまちです。

滝川市 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR滝川駅まで約50分、JR旭川駅から同じく約35分
自動車利用／札幌ICから道央自動車道滝川IC経由で約1時間、旭川鷹栖ICから同じく約30分
【お問い合わせ】
滝川市総務部企画課企画政策係 ☎0125-28-8004（直通）
ホームページ／https://www.city.takikawa.hokkaido.jp/200soumubu/03kikaku/03kikakuseisaku/02welcome/index.html
【移住・定住のお問い合わせ】 同上



コンチェルトホール

音響の良さが国内でも指折りの音楽ホール。数多くのコンサートを開催し、出演アーティストたちから「またこの場所で演奏したい」との声を頂いています。

●奈井江町奈井江町243番地24
☎0125･65･6066



交流プラザみなクル

平成25年にJR奈井江駅となりにオープン。町民誰もが気軽に利用し、集った人同士が会話を楽しんだり、待ち合わせたり、読書したり。平成27年にオープンした「コミュニティカフェスマイル」も好評。

●奈井江町奈井江町74番地
☎0125･74･5574
9:00～17:00、12月31日～1月5日休

道の駅 ハウスヤルビ奈井江

「日本一長い直線道路」のほぼ中間地点に位置する道の駅。北欧風の建物内では、地元産米を使った作りたてのおにぎりが味わえる売店があります。特産品の販売スペースや米粉ソフトクリームも人気です。



●奈井江町奈井江28番地1
☎0125･65･2278

特産品



ゆめぴりか

全国各地の産地・品種の中から「今、一番食べてほしいお米」として日経トレンディ主催「第6回米のヒット甲子園」（令和2年）で「特別栽培米ゆめぴりか」が大賞受賞。ふっくらとしたつややかな炊き上がり。粘りと甘さの特徴があるお米です。



アイヌ語で「砂多き川」を意味する「ナエ」から転訛

Naie

奈井江（ないえ）

奈井江町 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR岩見沢駅へ、普通列車に乗り換えJR奈井江駅まで54分。JR旭川駅から特急でJR滝川駅へ、普通列車に乗り換えJR奈井江駅まで55分
自動車利用／札幌から道央自動車道奈井江砂川IC経由で約1時間、旭川から同じく約1時間5分
【お問い合わせ】
奈井江町産業観光課商工観光係 ☎0125･65･2118
ホームページ／http://www.town.naie.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】
奈井江町企画財政課政策推進係 ☎0125･65･2112

いろいろな「一番」あり 健康と福祉も充実

田園地帯が広がる自然豊かさと同時に、札幌まで車で約1時間というアクセスの良さが魅力の〝都会と田舎の利点を併せ持つまち〟。健康と福祉のまちとして医療・介護・福祉に力を入れているのに加え、まちづくり自治基本条例、子どもの権利条例、おもいやりの障がい福祉条例などを通し、町民一人一人が主役となってまちづくりを行っています。

町内を日本一の直線道路（国道12号＝29・2㎞）や北海幹線（日本一の農業用水路）、石狩川（道内一の大河）が横断しています。



砂川市立病院

28診療科、516床を完備した空知を代表する基幹病院です。人間ドックなどの病気予防にはじまり、各診療から入院、手術、緩和ケアなどの終末期医療、出産、小児医療まで、充実した設備の中で地域の健康を支えています。

●砂川市西4条北3丁目1番1号 ☎0125･54･2131
土曜･日曜･祝日･年末年始休診



ご当地スイーツ

すながわスイーツ

昔から多くの菓子職人が腕を競い合っていた砂川のまち。国道12号を中心に和菓子から洋菓子までさまざまなお店が軒を連ね「すながわスイートロード」と呼ばれるように。お菓子は砂川の大きな魅力です。（P14参照）



砂川ハイウェイオアシス館

道央自動車道の上下線ともに直結し、「子どもの国」に隣接。館内には北海道を代表するお土産品が揃う「オアシスプラザ」や、空知の新鮮野菜や特産品などを取り扱う「そらいちマーケット」があります。また、レストランでは北海道の食材を生かしたメニューが好評です。

●砂川市北光336番地7 ☎0125･53･2460



北海道子どもの国

232.5haの広大な敷地には255種の樹木や野草が茂り、エゾリスやウサギ、タヌキやキツネなどの野生動物にも会えます。ふわふわドームなどの遊具やパークゴルフ場、バーベキュー場などがあり、1日中楽しめる公園です。

●砂川市北光401番地1 ☎0125･53･3319
4月下旬～11月上旬（施設により休園日あり）、9:00～17:00

砂川市 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR砂川駅まで約50分、JR旭川駅から同じく約40分
自動車利用／札幌から道央自動車道砂川SAスマートIC経由で約50分、旭川から同じく約40分
【お問い合わせ】
砂川市経済部商工労働観光課観光係 ☎0125･54･2121
ホームページ／http://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】 砂川市総務部政策調整課企画調整係
☎0125･54･2121
ワンストップ相談窓口

新旧の産業がともに成長を続けるまち

主要都市・札幌と旭川の間にあり、道内どこへ行くにも便利な優れた交通環境を持つ砂川。一方で、市民1人あたりの都市公園面積が日本一と、まさに〝公園の中にあるまち〟と呼べる一面も。地域医療の中核を担う拠点として市立病院を有するほか、高齢者のための条例づくりや、出産・子育て支援を積極的に実施。お菓子や化粧品、革製品など地元資本の企業が元気なのも特長で、全国・海外に展開している企業が多数あります。そして何よりも、昔からスイーツのまちとして有名です。

アイヌ語の地名「オタ・ウシ・ナイ」がオタ＝砂、ナイ＝川の意であるため

Sunagawa

砂川（すながわ）



絶景ポイント

かもい岳の雲海

中空知一円を見渡すことができるかもい岳。春または秋の夜明けから早朝にかけて、湿度が高く放射冷却が起きる条件が整えば、かもい岳の山頂から雲海を望むことができます。大海原のような雲海が見られるのは、風の穏やかな歌志内だからこそ。

●☎0125･42･3215（市役所産業課）

かもい岳スキー場

初心者から上級者まで、広いゲレンデで安心してスキー、スノーボードを満喫できます。例年、12月初旬から3月下旬まで楽しめるパウダースノーが魅力です。

●歌志内市歌神95番地9
☎0125･74･5900





うたしないチロルの湯

旧炭鉱の坑口から湧き出る「美肌の湯」が楽しめます。大自然の中で開放的な入浴を。

●歌志内市中村78番地3 ☎0125･42･5588 日帰り入浴6:00～8:00、10:00～22:00、不定休（6月と11月に2、3日設備点検日あり）、入浴料は大人500円、子ども300円

なんこ料理

馬の腸（なんこ）を煮込んだ炭鉱マンのパワーフードとして親しまれた郷土料理です。（P6参照）



市内を二分して西に向かい流れる「ペンケウタシュナイ川」に由来

Utashinai

歌志内（うたしない）

歌志内市 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR砂川駅へ、中央バス歌志内線に乗り換えて約1時間30分、JR旭川駅から同じく約1時間20分
自動車利用／札幌から道央自動車道奈井江砂川IC経由で約1時間、旭川から道央自動車道砂川SAスマートIC経由で約45分
【お問い合わせ】
歌志内市産業課 ☎0125･42･3215
ホームページ／http://www.city.utashinai.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】
歌志内市企画財政課 ☎0125･42･3214

かもい岳に抱かれる 風が穏やかなまち

春秋に神秘的な雲海を生じるかもい岳の麓、谷間に拓かれた日本一小さな「市」が、歌志内です。スキーなどのウィンタースポーツが楽しめるかもい岳のゲレンデへは、中心部から車で5分という近さ。「自然とともに自分のペースでゆったりと生活することができるまち」なのが魅力です。かつて炭都として栄えた当時の記憶は、タイムスリップ気分で展示物を楽しめる郷土館や、「こもれびの杜記念館」（P3参照）ほか、市内に残る炭鉱遺産の数々でしのぶことができます。

絶景ポイント



上砂川町地域おこし協力隊

平成27年から地域おこし協力隊を採用し、令和2年時点で、6名の協力隊がイベントの企画や地域の情報発信など、さまざまな活動で上砂川を盛り上げています。また、近隣市町の地域おこし協力隊と連携して特産品を販売するイベントの開催など、町内外の交流にもひと役買っています。



ご当地グルメ

ニジマスの燻製、ニジマス燻製醤油

町内で飼育から加工まで行っているニジマスの特産品。風味豊かな燻製はそのまま、燻製醤油はお刺身やサラダに。パンケの湯で購入できます。



上砂川岳温泉パンケの湯

原生林に囲まれた緑豊かな山間の温泉宿です。温泉施設のそばから湧き出る源泉は「美人の湯」と呼ばれるほどの美肌効果に加え、20種類以上の効能が認められています。レストランでの食事も楽しめます。

●上砂川町上砂川65番地106 ☎0125･62･2526 日帰り入浴10:00～22:00（最終入館21:30）、入浴料は大人500円、子ども300円

かみすながわ炭鉱館

上砂川に炭鉱が存在した歴史を展示する施設。世界でも珍しい水力採炭の模型を展示、炭鉱のまちの暮らしや歴史を学ぶことができます。

●上砂川町上砂川22番地 ☎0125･62･2011 10:00～16:00（5～9月の土曜･日曜･お盆期間） 入館無料



母町である砂川町よりパンケ歌志内川の上流にあることから

Kamisunagawa

上砂川（かみすながわ）

上砂川町 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR砂川駅へ、中央バス上砂川線に乗り換えて約1時間20分、JR旭川駅から同じく約1時間
自動車利用／札幌から道央自動車道奈井江砂川IC経由で約1時間、旭川から道央自動車道砂川SAスマートIC経由で約1時間
【お問い合わせ】
上砂川町企画課地域振興係 ☎0125･62･2223
ホームページ／http://town.kamisunagawa.hokkaido.jp/
【移住・定住の問い合わせ】 同上

子育て環境が整った〝住み良さ〟が魅力

空知のほぼ中央に位置する上砂川は、南北の山が強風をさえぎるため温暖で、降雪量も比較的少なく、自然環境に恵まれた住み良いまちだと言えます。

現在、公募で決まった6名の「地域おこし協力隊」が、まちの活性化のためのイベント企画や地域の情報&魅力発信を積極的に実施中。今後も協力隊が中心となって、親子の交流や高齢者のためのサロン、観光情報の発信などを行う「まちの駅ふらっと」を開設しました。アイデアを出し合って、賑わいのあるまちを創出します。



道の駅　田園の里うりゅう

国道275号沿いにある道の駅。「雨竜沼自然館」では町内在住の写真家岡本洋典さんが撮影した湿原の写真などを展示、特産品直売施設では、「うりゅう米」をはじめ「暑寒メロン」など、旬の農産物が購入できます。

●雨竜町満寿28番地3　☎0125･79･2100　10:00～18:00（施設や時期によって異なる）、年末年始休



雨竜沼湿原

暑寒別天売焼尻国定公園に含まれ、国内有数の山岳型高層湿原帯です。多様な生命が息づく場所としてラムサール条約にも登録されています。大小約700個の池塘が点在し、春から秋まで200種類以上の花や植物が見られます。（P13参照）



雨竜町 パークゴルフ場

トドマツコースとダリアコース各18ホールを整備。道具はレンタルできるので、気軽に手ぶらで楽しむことができます。シーズン中は毎月大会を開催。子どもからシニアまで多くの町民が楽しく汗を流しています。

●雨竜町32番地いきいき元気村内　☎0125･77･2289　4～11月、8:00～18:00（または日没）　料金は1日大人500円、子ども250円



特産品

うりゅう米

暑寒別連峰の雪解け水を湛える暑寒ダムから水を引く雨竜の水田。清流と澄んだ空気がはぐくむお米は、有機肥料を使い、超低温籾（もみ）貯蔵にこだわり、美味しさを最大限に引き出しています。そんな雨竜産のお米は「うりゅう米」としてブランド化されています。

アイヌ語で「鵜の多い川」を意味する「ウリロベツ」から

Uryu

雨竜（うりゅう）

清らかな水が流れる美味しいお米の里

面積約100ha、標高850mの高地に広がる「雨竜沼湿原」が世界的に知られる雨竜。稲作を中心とした農業のまちで、暑寒別岳ほかから流れ込む清らかな水が美味しいお米を育てあげます。こだわりの栽培法で生産されるこの「うりゅう米」。現在、生産力向上と作業効率アップのため、まちをあげて水田の大規模化に取り組んでいます。

また、子育て支援策にも力を注いでいるほか、シルバータクシーの助成や心配ごと相談など、住民のためのケアも充実させています。

雨竜町 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR滝川駅を経由し、中央バスに乗り換えて約1時間15分、JR旭川駅から同じく約55分

自動車利用／札幌から道央自動車道滝川IC経由で約1時間30分、旭川から道央自動車道深川IC経由で約50分

【お問い合わせ】
雨竜町産業建設課商工グループ ☎0125･77･2248
ホームページ／http://www.town.uryu.hokkaido.jp
【移住・定住のお問い合わせ】
雨竜町総務課総務グループ
☎0125･77･2211



浦臼町郷土史料館

浦臼を開拓した先人たちの文化財遺産や生活を物語る展示をしているほか、入植者の一人である坂本龍馬の甥・坂本直寛や龍馬の養嗣子・坂本直の遺品に加え、坂本龍馬に関係する資料も展示しています。（P5参照）

●浦臼町ウラウシナイ183番地21　☎0125･68･2237　4月26日～10月31日、9:30～16:00、月曜・火曜休（祝日の場合は翌日）　入館無料

観光スポット



うらうす 夏の味覚まつり（鶴沼公園）

浦臼の味覚をまとめて楽しめる一大イベント。打ちたてそばの実食販売をはじめ、牛肉、メロン、トマトなど農畜産物を特価で販売。20:00からは恒例の花火大会があり、夜空を彩ります。

●浦臼町キナウスナイ188番地306　☎0125･68･2114（浦臼町役場産業振興課）　8月初旬の日曜・10:00～20:30



新そば収穫祭（鶴沼公園）

浦臼産ぼたんそばを使った打ちたてのそばを味わえる、「新そば収穫祭 in 浦臼」。人気の早食い・大食い大会や、道内各地から集うそば名人たちによる手打ちの実演なども見ものです。

●浦臼町キナウスナイ188番地306
☎0125･68･2114（ぼたんそば収穫祭実行委員会）　9月下旬の土曜・日曜・10:00～14:00

道の駅つるぬま（浦臼町自然休養村センターうらうす温泉内併設）

うらうす温泉内にあり、温泉も楽しめる道の駅。特産品コーナーにある浦臼工場産「ジビエソーセージ」が人気。
※令和2年9月よりうらうす温泉建物内に移動。

●浦臼町字キナウスナイ188番地30 ☎0125･68･2626
4月下旬～9月30日、10:00～18:00／10月1日～4月下旬、10:00～17:00、月曜休（祝日の場合は翌日）



アイヌ語で「網を干す場所」を意味する「ウライウシ」から

Urausu

浦臼（うらうす）

丘にブドウ棚が連なる龍馬一族ゆかりのまち

ワイン大好き・永遠の32歳！の臼子ねぇさん（浦臼町観光大使＝ゆるキャラ）がPRする通り、浦臼は日本一のワイン用ブドウ畑があるまち（P8、9参照）。ワインに合う牛肉も生産されているほか、メロンやマンゴーも作られています。また町内で、幻のそばと呼ばれる「ぼたんそば」を味わえるのも魅力です。

さらに浦臼は、坂本龍馬ゆかりの地。北海道（蝦夷地）移住を計画しながら果たせなかった龍馬の死後、甥などが入植し農場を営みました。今でも町内に「坂本家の墓」が残されています。

浦臼町 Data

公共交通／JR旭川駅からJR奈井江駅へ、町営バスに乗り換えてJR浦臼駅まで約1時間25分

自動車利用／札幌から国道275号経由で約1時間20分、旭川から道央自動車道奈井江砂川IC経由で約1時間10分

【お問い合わせ】
浦臼町総務課 ☎0125･68･2111
ホームページ／http://www.town.urausu.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】
同上



フルーツ狩り

深川はりんごやサクランボなど多彩な種類の果物を栽培しており、りんごだけでも約40種と、品種数は道内随一の「果樹王国」です。7月はサクランボ、8月はブルーベリーやプラム、9月はプルーンやりんごなど夏から秋にかけてフルーツ狩りが楽しめます。

●市内各果樹園（深川観光協会にお問い合わせください）　☎0164･34･5581（深川観光協会）

深川市 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR深川駅まで1時間6分、JR旭川駅から同じく19分

自動車利用／札幌から道央自動車道深川IC経由で約1時間、旭川から国道12号経由で約35分

【お問い合わせ】
深川市経済･地域振興部商工労政課商工労政係 ☎0164･26･2264
ホームページ／https://www.city.fukagawa.lg.jp/cms/section/shokoro/index.html
【移住・定住のお問い合わせ】
深川市移住定住サポートセンター
☎0164･26･2627
ホームページ／
https://www.city.fukagawa.lg.jp/iju/



花火大会

毎年7月末に行われる「ふかがわ夏まつり」の最終日、空知エリアで最大級の花火大会が開催されます。昭和27年に始まった夏の風物詩。約3000発もの花火が豪華絢爛に夜空を彩ります。

●深川市･石狩川河川敷　☎0164･22･3146（深川商工会議所）

ふかがわまい

深川は全国でも有数の米どころ。「ふっくりんこ」「ゆめぴりか」「ななつぼし」などの良食味米を、クリーン農業に取り組みながら生産しています。



特産品



道の駅 ライスランドふかがわ

「米」がテーマの道の駅。その場で握ってくれるおにぎりや炊き立ての釜飯などを味わえるほか、深川産米や旬の農産物のほかご当地グルメ「深川そばめし」などの特産品が勢ぞろいしています。また、深川産米粉を生地に練り込んだふかがわ米キャラクター「こめっち」の形をしたこめっち焼きは、もちもちとした食感が特徴で老若男女問わず人気です。

●深川市音江町広里59番地7　☎0164･26･3636　9:00～19:00（施設、時期により異なる）、12月31日～1月2日休

Fukagawa

域内を流れる大鳳川のアイヌ語「オオホ･ナイ＝深い川」が語源

深川（ふかがわ）

おいしいものいっぱい魅力たっぷり米どころ

東京23区をひとまわり小さくした面積で、北海道のほぼ中央に位置するまち・深川。四季の移ろいが美しく、春にはカタクリの花が群生し、夏には夜空を彩る花火が見る人たちを魅了します。実りの秋になると、「ゆめぴりか」「ふっくりんこ」などのブランド米の収穫でまちが活気づき、一面が銀世界になる冬には「氷雪まつり」の会場が子供たちの歓声でいっぱいになります。そのほか、季節ごとのグルメや、サイクリングなどのアクティビティーも多彩。「いつ来ても魅力たっぷり」の深川です。

ふるさとまつり・雪まつり

夏と冬に、ユニークなアトラクションが人気の二大まつりを開催。「ふるさとまつり」（ふるさと公園、7月下旬）では落ちないよう泥池までの距離を競う「泥（デイ）ブリッジ選手権大会」、「雪まつり」（北中央公園、1月下旬）では中華鍋に座って行う「国際中華鍋押相撲選手権」が目玉。多彩なプログラムがあり、グルメも楽しめます。

●☎0125･76･2134（新十津川町産業振興課）



開拓記念館

移住してきた600戸2489人から始まるまちの歩みを伝えようと、開町90周年を記念して昭和55年に建設。「新十津川の自然と歴史」「母村・十津川村の自然と歴史」など、7テーマに分けて展示しています。

●新十津川町中央1番地1 ☎0125･76･2622
10:00～16:00（金曜は～13:00）、月曜・火曜休、11～4月冬期休館　入館料は高校生以上140円、小･中学生70円、ほか各種割引あり

物産館

大きなクジラのモチーフが目に焼きつく、特産品・名産品の展示販売スポット。メロン、トウモロコシ、カボチャ、地酒など素材の味が生きた10種の「新十津川アイス」が人気です。

●新十津川町中央5番地1 ☎0125･76･3141
（株式会社 新十津川総合振興公社）　3～10月は10:00～17:30、11～2月は10:00～16:00（レストランは11:00～、月曜休）





金滴酒造

明治39年創業、道内外にその名を知られる銘酒を生み出す酒造。新十津川に移住した人々は「10年間の断酒」を誓って開墾に専念し、その苦労が報われた成果としてこの酒造が誕生しました。（P9参照）

●新十津川町中央71番地7
☎0125･76･2341

Shintotsukawa

明治23年、移住者の出身地・奈良県十津川にちなみ新十津川とした

新十津川（しんとつかわ）

酒米の作付道内一！銘酒と歴史を誇りに

明治22年、大水害に襲われ奈良県十津川村から移住した人々を祖とする（P5参照）新十津川。米どころであり、メロン、トマト、シイタケなどの農産物も豊かですが、何といっても特筆すべきは、酒米の作付面積、道内一！それを用いた銘酒が全国的に人気です。

四季ごとに開催するイベントでは、「ピンネシリ登山マラソン」が出色。ピンネシリ岳の裾野から山頂まで、高低差1000m超えのコースを駆け上がります。また、積極的に定住助成や子育て支援を行っています。

新十津川町 Data

公共交通／JR札幌駅から特急列車でJR滝川駅へ、中央バスに乗り換え約1時間、JR旭川駅から同じく約40分

自動車利用／札幌から道央自動車道奈井江砂川IC経由で約1時間、旭川から道央自動車道滝川IC経由で約1時間

【お問い合わせ】
新十津川町総務課企画調整グループ ☎0125･76･2131
ホームページ／http://www.town.shintotsukawa.lg.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】 同上

移住促進マークの見方　住宅支援　就業･起業支援　新規就農支援　子育て支援　福祉（高齢･介護）　短 短期滞在プラン（お試し暮らし）　他 その他



ひまわりライス

減農薬で栽培される北竜町のお米は、誰がどの水田で栽培したかを明確にするトレーサビリティーを確保し、「ひまわりライス」としてブランド化されています。美味しさと一緒に、安全・安心をお届けすること、それが北竜町の生産者の思いです。



観光スポット

北竜町ひまわりの里

23.1haの敷地に200万本のひまわりが咲き誇ります。8月上旬には園内一面が満開のひまわりでいっぱいに。開花時期の7月下旬から8月下旬は毎年、「ひまわりまつり」を開催し、道内外から多くの観光客でにぎわいます。(P17参照)

●北竜町板谷143番地2(ひまわり観光センター) ☎0164・34・2082(7月下旬～8月下旬のみ連絡可) 入園無料(ひまわり迷路は有料)



道の駅 サンフラワー北竜

2頭の龍が出迎えるオランダ風の建物が道の駅です。温泉や宿泊施設、物産品を販売するお店やレストラン、遊具施設などが集まり、さまざまな楽しみ方ができます。道の駅の裏手には一面のひまわり畑も。

●北竜町板谷163番地2 ☎0164・34・3321 8:00～22:00(施設や時期により異なる)、無休



ひまわりメロン・ひまわりスイカ

北竜町で栽培されるひまわりメロンは青色の果肉で糖度が高くさわやかな甘さが特徴です。ひまわりスイカの果肉は黄色。鮮やかな色とさっぱりとした甘さで贈答品として重宝されています。生産するのはエコファーマーの認定を受ける農家です。

明治32年に雨竜から分村した際、雨竜の北にあることから名付けた

Hokuryu

北竜(ほくりゅう)

太陽に向かって輝くヒマワリのようなまち

道民なら〝ひまわりのまち〟として知らぬ人はない知名度を持つ北竜。「太陽を味方につけたまち北竜町」のキャッチフレーズのもと、町の花＝ひまわりのように〝明るく笑顔で健康長寿〟な暮らしを応援しています。

特産品は、安心安全にこだわり育てる「ひまわりライス」、共にすっきりした甘さが自慢の「ひまわりメロン」と黄色の「ひまわりすいか」、そして、健康食品としても人気の黒千石大豆など。温泉と道の駅があるサンフラワーパークでは、2頭の龍が出迎えます。

北竜町 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR滝川駅へ、空知中央バス滝川北竜線に乗り換え約1時間30分。JR旭川駅から特急でJR深川駅へ、空知中央バス深川北竜線に乗り換え約1時間

自動車利用／札幌から国道275号経由で約2時間。旭川から国道233号経由で約1時間

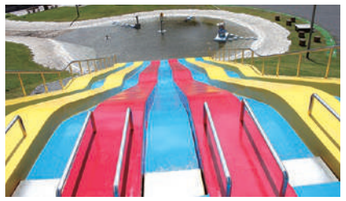
【お問い合わせ】
北竜町企画振興課企画係 ☎0164・34・2111
ホームページ／http://www.town.hokuryu.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】 同上



遊水公園うらら

スリーオンスリーコートや水遊び場に遊具広場、27ホールのパークゴルフ場などを完備し、アクティブに1日中遊べる公園。特に5レーンもあるウォータースライダーは、距離も長く、迫力満点で子どもたちは大喜び。利用期間は7月～8月。

●妹背牛町妹背牛5189番地 ☎0164・32・2063



妹背牛町カーリングホール

屋内専用カーリング施設として、冬は4シートを整備し、全国規模の大会も開催されています。また、初心者でも楽しめるようにレンタル用具も充実。夏はふわふわドームなどがそろう屋内遊具施設として子どもたちに大人気です。(P15参照)

●妹背牛町妹背牛5181番地2 ☎0164・32・9511



妹背牛温泉ペペル

豊富な湯量を誇る天然温泉。露天風呂では日本庭園を眺めながらゆったりと湯浴みが楽しめます。また、館内のレストラン「米里」では「モーモー丼」を味わうことも。宿泊用のコテージも完備しています。

●妹背牛町妹背牛5208番地1 ☎0164・32・4141 日帰り入浴10:00～22:00、無休、入浴料は大人500円、小学生250円、幼児無料、その他各種割引料金あり

ご当地グルメ



モーモー丼

妹背牛温泉ペペル内のレストラン「米里(ベイリー)」の人気メニュー。妹背牛の牛にちなみ、特製のたれを絡めた牛肉ステーキをご飯の上に乗せた食べごたえのある一品です。

●妹背牛町妹背牛5208番地1
☎0164・32・4141(妹背牛温泉ペペル)

アイヌ語で「イラ草のある所」を意味する「モセユーセ」から

Moseushi

妹背牛(もせうし)

あぜ道にハーブが香るクリーンなまちづくり

総面積48・64㎢と、北海道で3番目に小さなまちが妹背牛。山を持たないまちでもあります。基幹産業は農業で、通信情報技術を駆使するICT農業にも積極的に取り組んでいますが、独特なのは田んぼのあぜ道にずらりとハーブのアップルミントを植えていること。防虫効果があるため、これによって農薬散布をできる限り控え、クリーンで安心なお米作りを実現しているのです。市街地区にも色鮮やかなハーブを植え、町じゅうが香りで癒されるような住空間づくりを目指しています。

妹背牛町 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR深川駅へ、空知中央バスに乗り換え約1時間10分、JR旭川駅から同じく約30分

自動車利用／札幌から道央自動車道深川西IC経由で約1時間、旭川から国道12号経由で約40分

【お問い合わせ】
妹背牛町企画振興課企画振興グループ
☎0164・32・2411(内線127)
ホームページ／http://www.town.moseushi.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】 同上



特産品

トマトジュース「北のほたる」

町内で栽培する完熟トマトから作るジュースが好評です。製造も町内の農産加工場で行い、道の駅やほろしん温泉ほたる館などでも購入できます。また、全国各地から通信販売で求めるファンもいるほどの人気です。



雪の活用

雪を活用した雪国ならではのまちづくりに取り組んできた沼田町。雪冷熱によるシイタケ栽培など、多くの取り組みが評価されています。



ほろしん温泉ほたる館

ほたるの里の中にある温泉宿泊施設です。開拓時代から癒しの水として伝説が残る源泉から引くお湯は、疲れを取り活力を養ってくれると評判です。また、ほたるの里には、キャンプ場やパークゴルフ場もあり、ゆっくりと滞在して楽しめます。

●沼田町幌新377番地 ☎0164・35・1188 日帰り入浴10:00～22:00、無休、入浴料は大人500円、小学生250円、幼児無料

現・富山県から入植し開拓功労者となった沼田喜三郎の姓から

Numata

沼田(ぬまた)

夏はほたるの光、冬は白い雪が彩る

夏の〝ほたる〟〝夜高あんどん祭り〟の美しさで知られる沼田。しかし一方では、冬に大量に降る雪と共存するまちづくりを目指して「輝け雪のまち宣言」を(平成14年6月21日)し、貯えた雪の冷気で貯蔵する「雪中米」や「雪中椎茸」、「雪中そば」、純米酒「雪ごり」など、雪を活用して魅力ある特産品を生み出しています。

町内には、スキー場、ゴルフ場、温泉をはじめ、炭鉱の歴史を知る資料館や蒸気機関車の展示(P4参照)、ユニークな実践ができる「化石体験館」なども楽しめます。



夜高あんどん祭り

開拓者・沼田喜三郎のふるさと(現・富山県小矢部市)から伝承されたお祭りです。高さ7m・重さ5トンの大型をはじめ、大小20数基のあんどんが町内を練り歩きます。夜に行われるぶつかり合いの喧嘩あんどんは迫力満点。一見の価値あるお祭りです。

●夜高あんどん実行委員会・沼田町夜高あんどん保存会 ☎0164・35・2231
沼田駅前などで8月第4金曜・土曜に開催

沼田町 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR深川駅へ、普通列車に乗り換えJR石狩沼田駅まで約1時間30分、JR旭川駅から同じく約1時間

自動車利用／札幌から道央自動車道、深川沼田道路経由で約1時間30分、旭川から湯内トンネル経由で約45分

【お問い合わせ】
沼田町産業創出課 ☎0164・35・2155
ホームページ／http://www.town.numata.hokkaido.jp/
【移住・定住の問い合わせ】
沼田町住民生活課移住定住応援室 ☎0164・35・2115

短期滞在プラン＋働きながらのちょっと暮らし



秩父別温泉ちっぷ・ゆう&ゆ

サウナやジェットバスを備え、露天風呂には陶器やヒノキの浴槽があり、癒しの天然温泉を堪能できます。乳白色のにごり湯「シルクの湯」は美肌効果が期待できると評判。湯上りは特産品のトマトジュース「あかずきんちゃん」をどうぞ。

●秩父別町2085番地 ☎0164・33・2116 日帰り入浴9:00～22:00、無休、入浴料は大人500円、小学生250円、月2回半額の日あり



道の駅 鐘のなるまち・ちっぷべつ

道の駅の目の前には、国内最大級のスイングベルが鳴り響く開基百年記念塔があります。特産物展示館では、お土産物のショッピングを。敷地内には「秩父別温泉ちっぷ・ゆう&ゆ」も。

●秩父別町2085番地 ☎0164・33・3902 9:00～17:00(施設・時期によって異なる)、11～4月の火曜休、12月30日～1月5日休

ご当地グルメ



ちっぷべつ緑のナポリタン

ブロッコリーの産地・秩父別のご当地グルメです。ブロッコリーパウダーを練りこんだ緑のパスタを町内産トマトジュースで作ったソースでいただく一品。見た目のインパクトもさることながら、味も美味しいと評判です。



3世代公園ベルパークちっぷべつ

人気施設こども屋内遊戯場「キッズスクエアちっくる」の隣に高さ13m、幅58mの大型屋外遊具キュービックコネクションがオープン。双方を行き来して遊べ、キャンプ場も備えており、隣には秩父別温泉があります。空知エリアの新しいお出かけスポットです。

●秩父別町1264番地 ☎0164・33・2555

アイヌ語で「通路のある川」を意味する「チックシベツ」から

Chippubetsu

秩父別(ちっぷべつ)

田園風景に鐘が鳴り響く高級ブロッコリーの産地

全耕地面積の9割が水田の空知屈指の米産地、そして国内最大級のスイングベルが鳴り響く〝鐘のなるまち〟です。道北最大のバラ園(P17参照)や温泉があり、新たにこども屋内遊戯場と大型遊具が加わりました。

特産品の代表はブロッコリー。それを加工した「緑」シリーズ(「緑のナポリタン」「緑のラングドシャ」「緑のアイス」等)がご当地商品として注目されています。また、「子ども子育て応援宣言」のまちとして家賃の助成など、まち独自の子育て支援事業を充実させているのも秩父別の特長です。

秩父別町 Data

公共交通／JR札幌駅から特急でJR深川駅へ、普通列車に乗り換えてJR秩父別駅まで約1時間20分、JR旭川駅から同じく約35分

自動車利用／札幌から道央自動車道深川JCT経由で約1時間35分、旭川から同じく約35分

【お問い合わせ】
秩父別町企画課企画グループ ☎0164・33・2111
ホームページ／
http://www.town.chippubetsu.hokkaido.jp/
【移住・定住のお問い合わせ】
同上

2地域居住(なつみの里)

移住促進マークの見方　住宅支援　就業・起業支援　新規就農支援　子育て支援　福祉(高齢・介護)　短期滞在プラン(お試し暮らし)　その他